

令和6年8月13日

令和6年上半期における 特殊詐欺の状況について

警視庁特殊詐欺対策本部

目次

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 5
(3) 預貯金詐欺	・・・ 8
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 11
(5) 還付金詐欺	・・・ 13
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 17
(7) 金融商品詐欺	・・・ 18
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 19
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 20
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 21
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 22
(12) 犯行予兆電話の通報件数	・・・ 25
(13) 犯行利用電話の種別	・・・ 25

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 26
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 29

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体	・・・ 30
(2) 金融機関による未然防止	・・・ 31
(3) 被害金調達状況（全体）	・・・ 32
(4) 金融機関における被害金調達	・・・ 33
(5) 金融機関窓口による未然防止率	・・・ 33
(6) 未然防止の好事例	・・・ 34

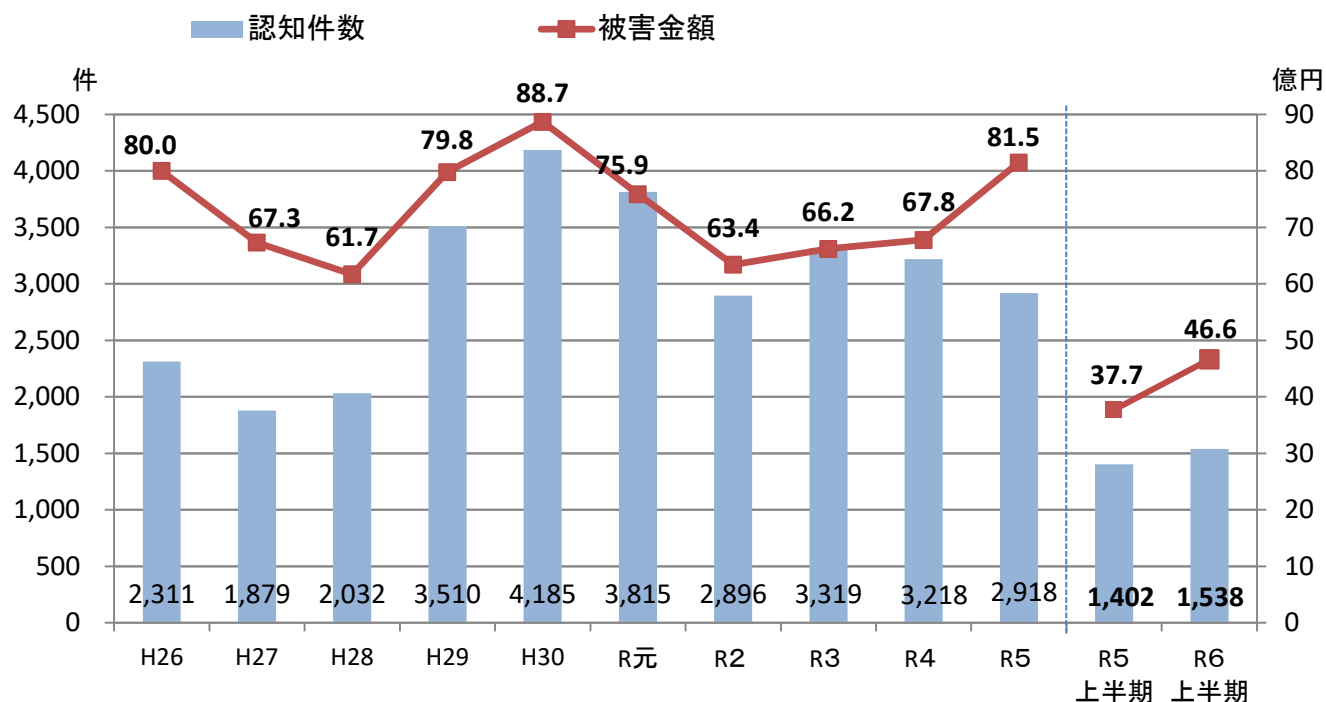
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す（約は省略）

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む）の総称
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体

ア 認知状況の年別推移 (H26~R6)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 令和6年上半期における認知状況

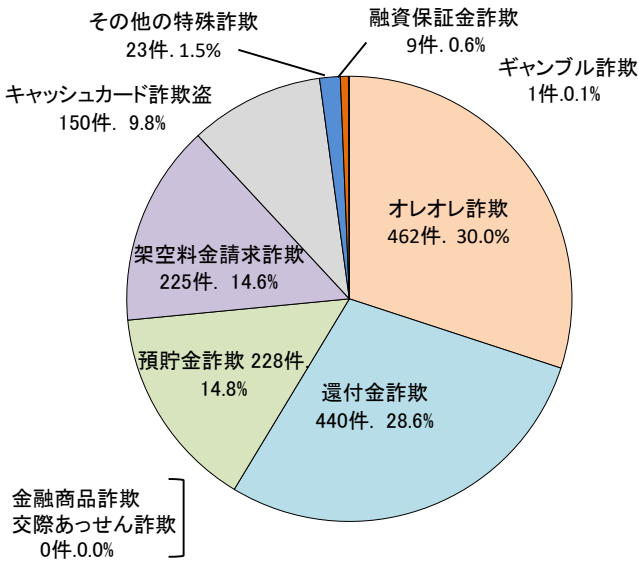
	オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		ギャンブル		交際あっせん		その他		キャッシュカード詐欺盗		合計	
	既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂	
認知件数	R6上半期	462 (437)	228 (221)	225 (224)	440 (440)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	23 (22)	150 (147)	1,538 (1,501)										
	R5上半期	383 (350)	325 (315)	235 (234)	246 (244)	4 (4)	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	195 (192)	1,402 (1,353)										
	前年比	+79 (+87)	-97 (-94)	-10 (-10)	+194 (+196)	+5 (+5)	-12 (-12)	-1 (-1)	±0 (±0)	+23 (+22)	-45 (-45)	+136 (+148)										
	増減率	+20.6% (+24.9%)	-29.8% (-29.8%)	-4.3% (-4.3%)	+78.9% (+80.3%)	+125.0% (+125.0%)	-100.0% (-100.0%)	-50.0% (-50.0%)	-	-	-	-	-23.1% (-23.4%)	+9.7% (+10.9%)								
被害金額	R6上半期	2,367,362,140	197,556,000	862,872,954	935,081,270	13,633,304	0	28,940,000	0	73,955,732	176,547,000	4,655,948,400										
	R5上半期	1,308,489,000	318,010,000	1,408,286,445	330,632,619	5,682,539	156,166,773	12,322,693	0	0	231,133,000	3,770,723,069										
	前年比	+1,058,873,140	-120,454,000	-545,413,491	+604,448,651	+7,950,765	-156,166,773	+16,617,307	±0	+739,557,32	-54,586,000	+885,225,331										
	増減率	+80.9%	-37.9%	-38.7%	+182.8%	+139.9%	-100.0%	+134.9%	-	-	-23.6%	+23.5%										
R6平均金額(既遂)		5,417,305	893,919	3,852,111	2,125,185	1,514,812	0	28,940,000	0	3,361,624	1,201,000	3,101,898										

※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む (以下同じ)

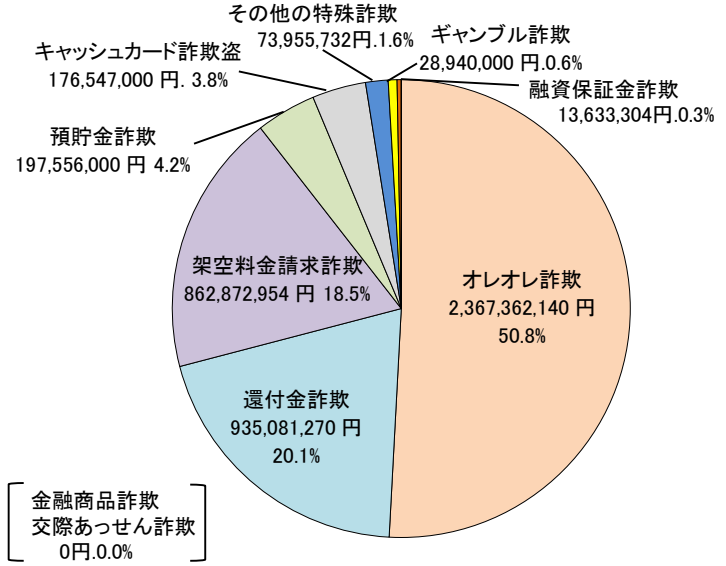
- 認知件数1,538件、被害金額約46.6億円で、前年同期と比べ認知件数が+136件(+9.7%)増加し、被害金額が約8.9億円(+23.5%)増加した。
- 手口別では前年同期と比べ、オレオレ詐欺、還付金詐欺が大きく増加した。
- 架空料金請求詐欺は、昨年からサポート詐欺の認知件数を含め計上している。

ウ 類型別の認知件数及び被害金額

【認知件数 1,538件】

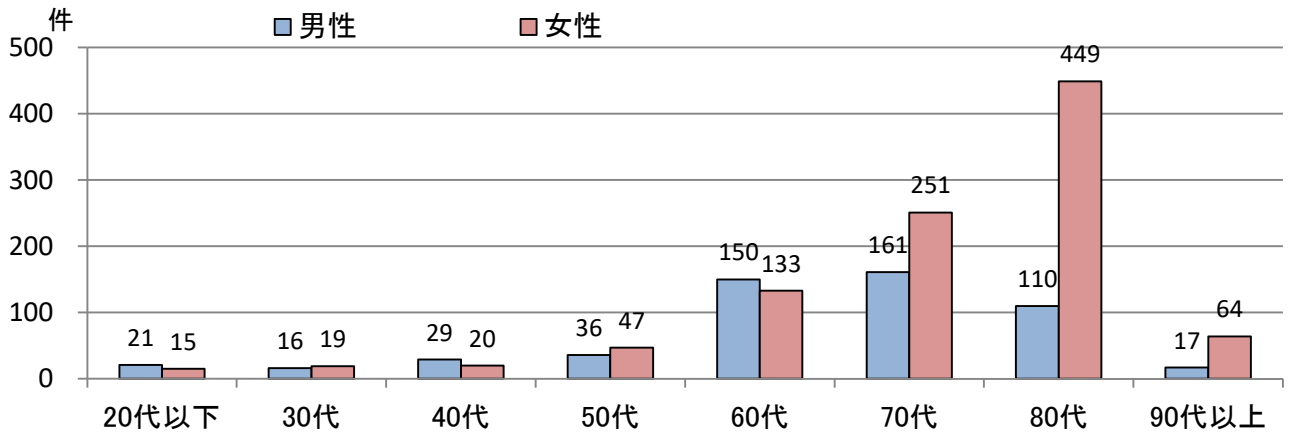


【被害金額 46億5,594万8,400円】



- 認知件数は、オレオレ詐欺と還付金詐欺で全体の約6割を占める。
- 被害金額は、オレオレ詐欺と還付金詐欺で全体の約7割を占める。

エ 被害者（年代別・男女別）



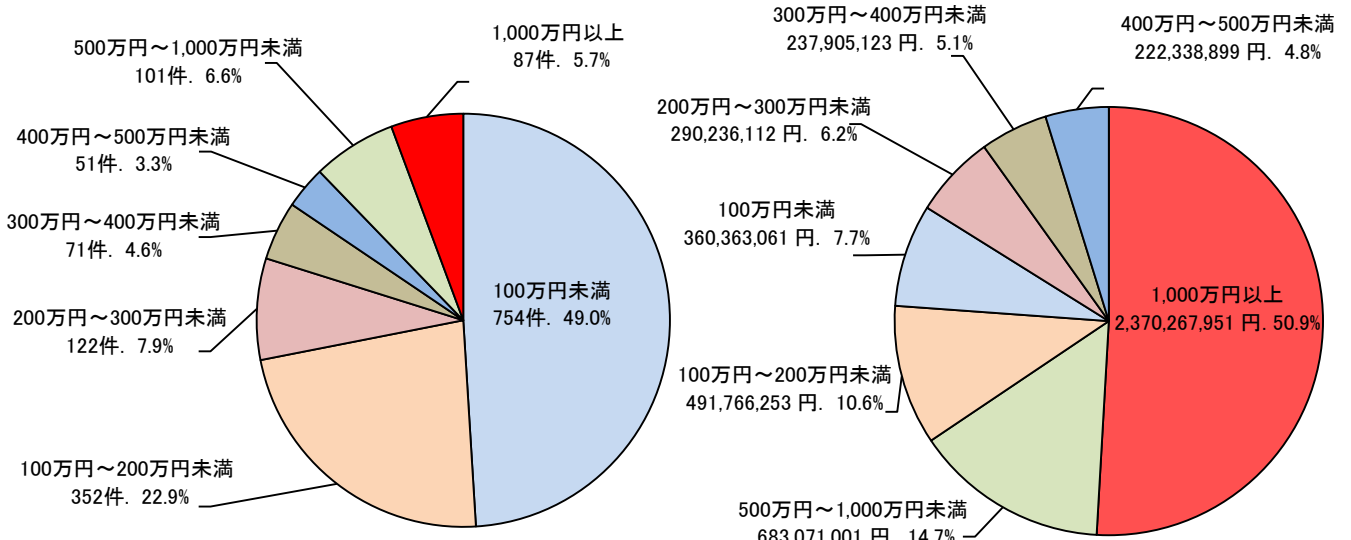
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男性	21	16	29	36	150	161	110	17	
R6年 上半期	割合	3.9%	3.0%	5.4%	6.7%	27.8%	29.8%	20.4%	3.1%	100.0%	
	女性	15	19	20	47	133	251	449	64	998	64.9%
	割合	1.5%	1.9%	2.0%	4.7%	13.3%	25.2%	45.0%	6.4%	100.0%	
	合計	36	35	49	83	283	412	559	81	1,538	
	割合	2.3%	2.3%	3.2%	5.4%	18.4%	26.8%	36.3%	5.3%	100.0%	
	前年比	+19	+22	+22	+25	+140	+67	-162	+3	+136	
R5年 上半期	男性	5	5	13	28	62	99	137	21	370	26.4%
	割合	1.4%	1.4%	3.5%	7.6%	16.8%	26.8%	37.0%	5.7%	100.0%	
	女性	12	8	14	30	81	246	584	57	1,032	73.6%
	割合	1.2%	0.8%	1.4%	2.9%	7.8%	23.8%	56.6%	5.5%	100.0%	
	合計	17	13	27	58	143	345	721	78	1,402	
	割合	1.2%	0.9%	1.9%	4.1%	10.2%	24.6%	51.4%	5.6%	100.0%	

- 被害者の割合は、70代以上が全体の約7割を占めており、男女別では、女性が6割を占める。

才 被害金額別

【認知件数 1,538件】

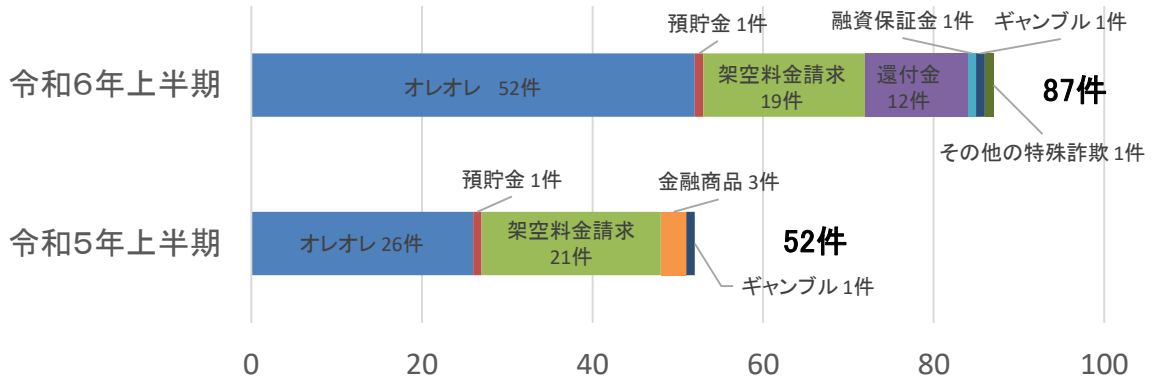
【被害金額 46億5,594万8,400円】



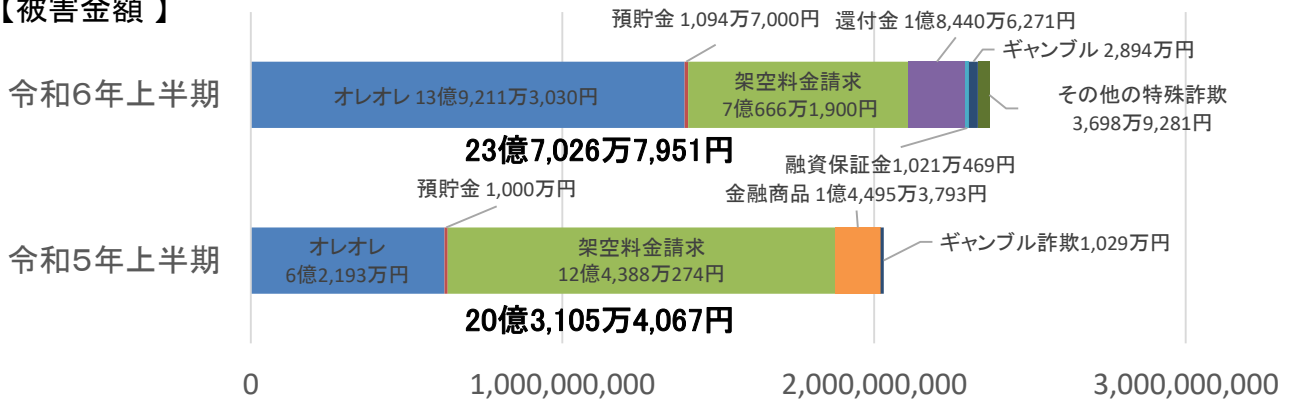
カ 高額被害 (1,000万円以上)

【認知件数】

高額被害(1,000万円以上の被害)



【被害金額】



キ 被害金等受取方法別

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R6年上半期	679	324	384	12	137	1	0	1	1,538
割合	44.1%	21.1%	25.0%	0.8%	8.9%	0.1%	0.0%	0.1%	100.0%
R5年上半期	334	338	558	9	160	0	0	3	1,402
割合	23.8%	24.1%	39.8%	0.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- ・ 電子マネー 有料サイト利用料金名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口
- ・ コンビニ決済 コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて金銭等をだまし取る手口
- ・ ATM決済 P a y - e a s y (ペイジー)で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM(現金自動預払機)等を利用させ、金銭等をだまし取る手口

- 受取方法の割合では、振込が最も高く全体の約4割を占め、次いで、カード手交が約3割を占める。
- 手交型(現金手交及びカード手交の合計)が、去年同期と比べ-188件(-21.0%)減少した。
- R6上半期の振込679件のうち、ネットバンキングを利用したの振込は、146件で、去年同期と比べ、119件増加している。

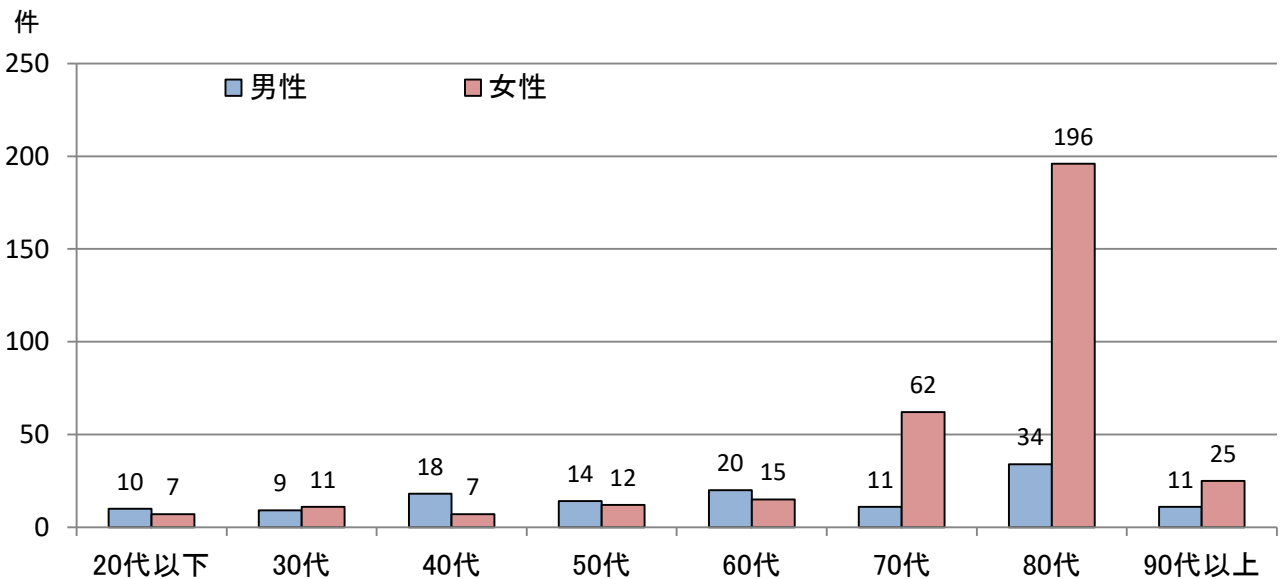
(2) オレオレ詐欺

ア 騙しの名目別

	R6年上半期				R5年上半期			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	0	0	0	0	0	0	0	0
横領事件等示談金	2	1	1	9,000,000	11	11	0	23,350,000
痴漢事件等示談金	0	0	0	0	1	1	0	2,500,000
妊娠中絶費用等	4	4	0	16,900,000	5	5	0	5,000,000
借金等の返済	0	0	0	0	2	2	0	4,680,000
損失補填金等	250	231	19	1,085,780,000	266	238	28	753,260,000
その他	206	201	5	1,255,682,140	98	93	5	519,699,000
合計	462	437	25	2,367,362,140	383	350	33	1,308,489,000
前年比	+79	+87	-8	+1,058,873,140				

○ 「その他」は、上記の類型に該当しないものであるが、警察官騙りが約6割を占める。

イ 被害者（年代別・男女別）



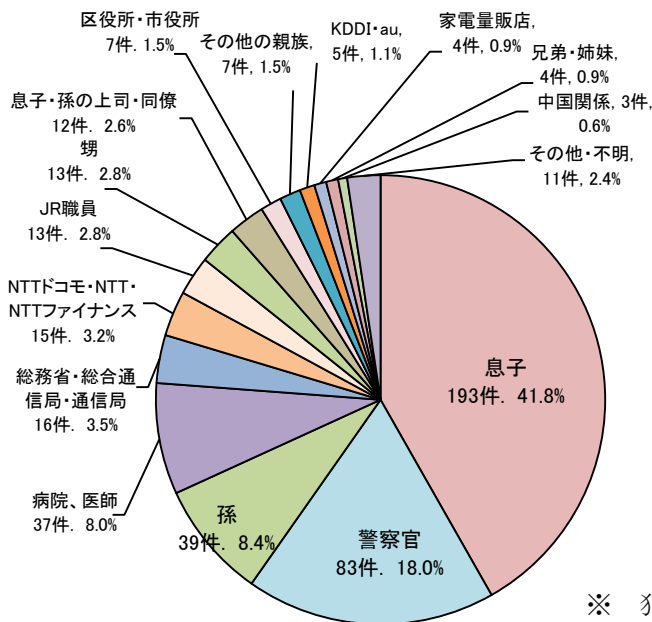
	R6年上半期									合計	男女別・割合
	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上			
男性	10	9	18	14	20	11	34	11	127	27.5%	
割合	7.9%	7.1%	14.2%	11.0%	15.7%	8.7%	26.8%	8.7%	100.0%		
女性	7	11	7	12	15	62	196	25	335	72.5%	
割合	2.1%	3.3%	2.1%	3.6%	4.5%	18.5%	58.5%	7.5%	100.0%		
合計	17	20	25	26	35	73	230	36	462		
割合	3.7%	4.3%	5.4%	5.6%	7.6%	15.8%	49.8%	7.8%	100.0%		
前年比	+11	+19	+25	+23	+21	-8	-21	+9	+79		
増減率	+183.3%	+1,900.0%	-	+766.7%	+150.0%	-9.9%	-8.4%	+33.3%	+20.6%		
R5年上半期	男性	1	1	0	0	2	13	49	8	74	19.3%
	割合	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	2.7%	17.6%	66.2%	10.8%	100.0%	
	女性	5	0	0	3	12	68	202	19	309	80.7%
	割合	1.6%	0.0%	0.0%	1.0%	3.9%	22.0%	65.4%	6.1%	100.0%	
合計	6	1	0	3	14	81	251	27	383		
割合	1.6%	0.3%	0.0%	0.8%	3.7%	21.1%	65.5%	7.0%	100.0%		

○ 被害者の割合は、年代別では、70代以上が全体の約7割を占めており、男女別では、女性が約7割を占めている。

警察官騙りの影響で60代以下の増加が目立つ。

ウ 欺罔者(登場人物)別

【オレオレ詐欺の認知件数 462件】

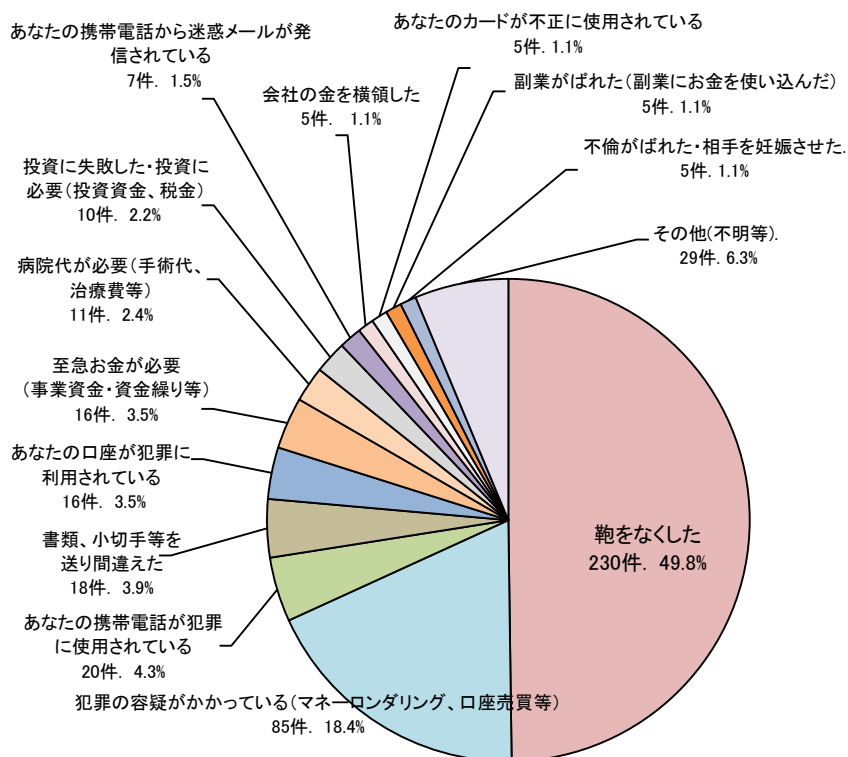


※ 犯人が最初に騙った人物を計上

○ 息子や孫等の「親族」騙りが全体の約6割を占め、次いで「警察官」騙りが約2割を占める。

エ 欺罔文言(だまし文句)別

【オレオレ詐欺の認知件数 462件】

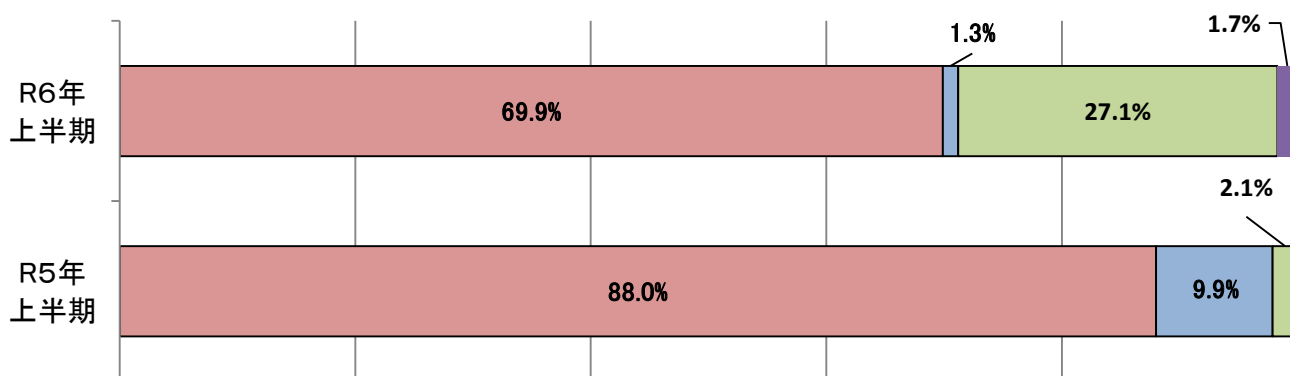


オ 被害金等受取方法別

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R6年上半期	323	125	7	6	0	1	462
割合	69.9%	27.1%	1.5%	1.3%	0.0%	0.2%	100.0%
前年比	-14	+117	+7	-32	±0	+1	+79
増減率	-4.2%	+1,462.5%	-	-84.2%	-	-	+20.6%
R5年上半期	337	8	0	38	0	0	383
割合	88.0%	2.1%	0.0%	9.9%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

■ 現金手交 ■ キャッシュカード手交 ■ 振込 ■ その他(送付含む。)



※ R6上半期の振込125件のうち、ネットバンキングを利用した振込は、84件で、昨年同期と比べ、77件増加している。

【オレオレ詐欺の主な手口】

○ 鞆を無くした(損失補填金等)

親族等を装い、「病院、駅、喫茶店のトイレ等に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ 会社の大事な書類等の送り先を間違えた(損失補填金等)

親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などの送り先を間違えてしまい、お金が必要になった。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ 会社の金を使い込んだ

親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ 『偽札』にすり替えられている

警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの家に侵入して、お金を偽札にすり替えたようです。お金を確認するため、警察官を自宅に向かわせます。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

○ あなたは事件の『容疑者』となっている

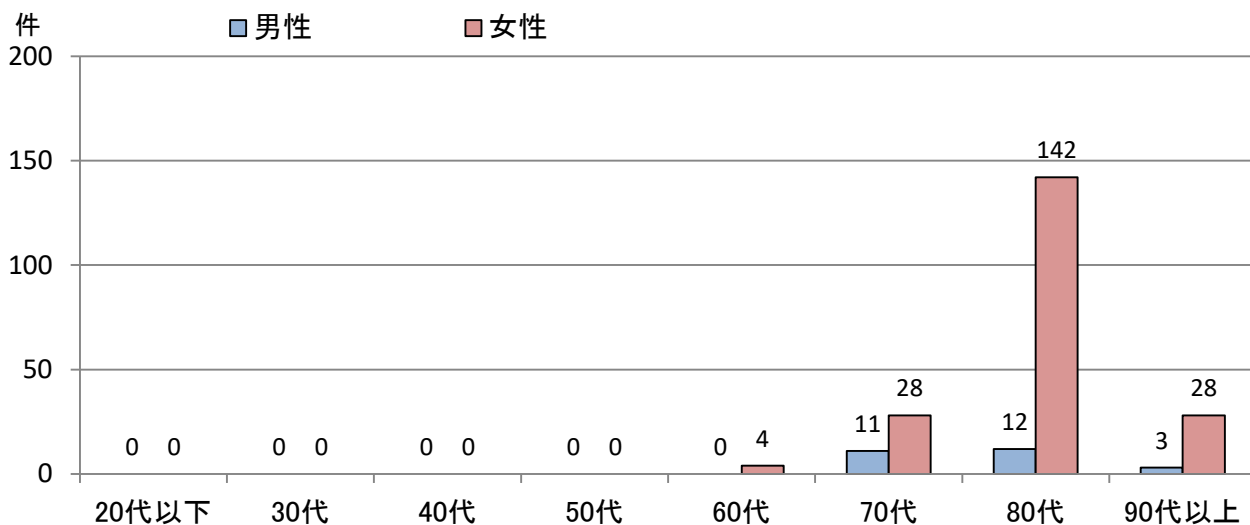
警察官や検察官を装い、「あなた名義の銀行口座が犯罪に使われ、あなたは事件の容疑者となっている。」等と架空の事件に巻き込み、逮捕されないための保釈金や銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませる等して、現金等をだまし取る手口

(3) 預貯金詐欺

ア 手口別認知件数

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	189	184	6	149,510,000	270	262	8	275,402,000
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	39	37	1	48,046,000	55	53	2	42,608,000
合計	228	221	7	197,556,000	325	315	10	318,010,000
前年比	-97	-94	-3	-120,454,000				

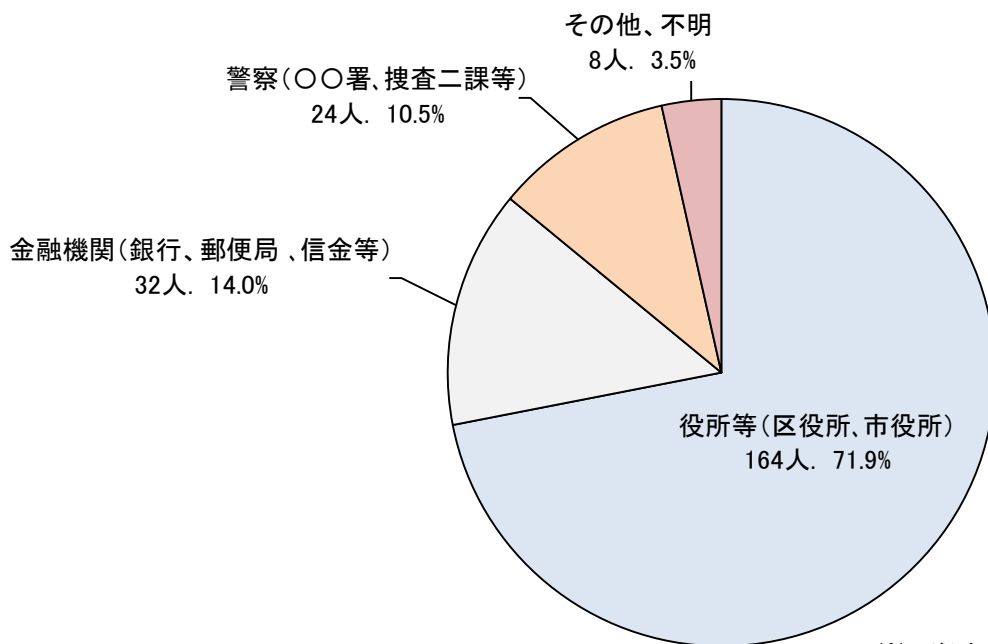
イ 被害者(年代別・男女別)



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R6年上半期	男性	0	0	0	0	0	11	12		3
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.3%	46.2%	11.5%	100.0%		
女性	0		0	0	0	4	28	142	28	202	88.6%	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	13.9%	70.3%	13.9%	100.0%		
合計	0		0	0	0	4	39	154	31	228		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	17.1%	67.5%	13.6%	100.0%		
前年比	±0		±0	±0	-1	+2	-31	-59	-8	-97		
増減率	-	-	-	-100.0%	+100.0%	-44.3%	-27.7%	-20.5%	-29.8%			
R5年上半期	男性	0	0	0	0	1	4	19	5	29	8.9%	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	13.8%	65.5%	17.2%	100.0%		
	女性	0	0	0	1	1	66	194	34	296		91.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	22.3%	65.5%	11.5%	100.0%		
合計	0	0	0	1	2	70	213	39	325			
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	21.5%	65.5%	12.0%	100.0%			

ウ 欺罔者(登場人物)別

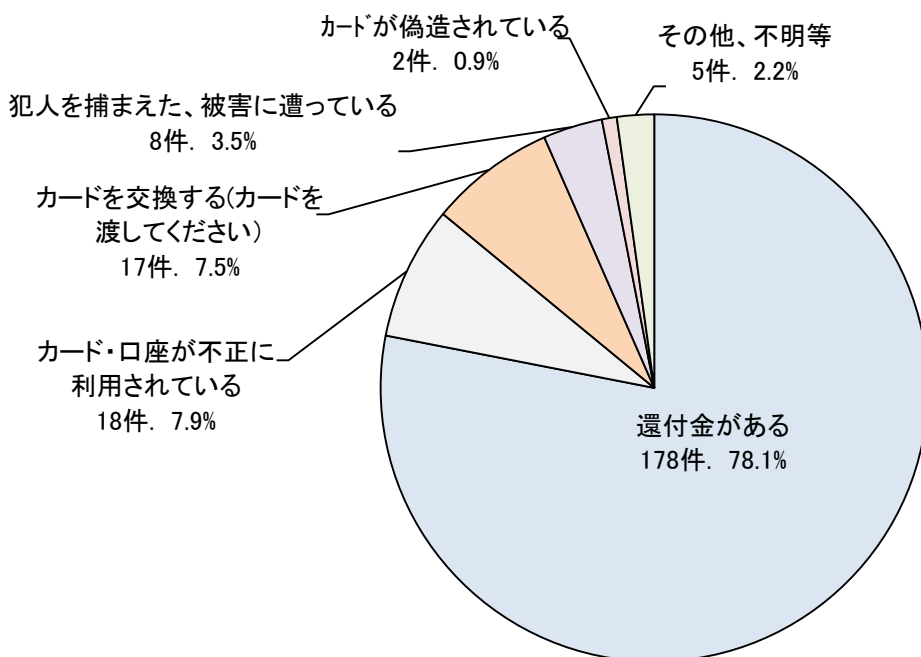
【認知件数 228件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

エ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 228件】



【預貯金詐欺とは】

○ 職権(公務員等)

警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)等の職員を騙り、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口

○ 受託(公務員及び親族以外)

百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者に成りすまして、カード交換などの名目でキャッシュカードをだまし取る手口

【主な手口】

○ 還付金がある

区・市役所の職員等を騙り、「市役所の者です。年金の還付金があります。銀行振込できますが、あなたのキャッシュカードは古いので、交換する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

○ あなたのカードが犯罪に使われている

警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座からお金が引き出されています。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるので、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

○ キャッシュカードに切れ込みやパンチで穴を開け安心させる

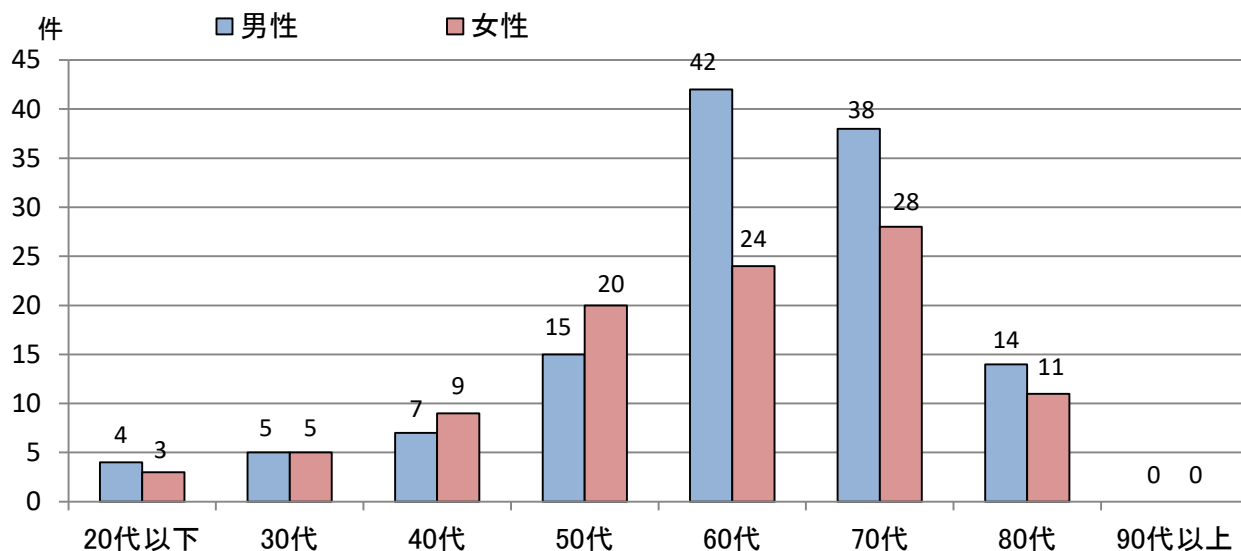
警察官等を騙り「キャッシュカードが不正に使用され、あなたの口座からお金が引き出されています。」等とうそを言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ(パンチで穴を開け)、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

(4) 架空料金請求詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	63	63	0	368,573,985	64	64	0	599,639,190
名義貸しトラブル等	2	2	0	56,000,000	2	1	1	6,000,000
情報買取抹消料金等	0	0	0	0	0	0	0	0
訴訟関係費用等	0	0	0	0	1	1	0	19,766,903
サポート	113	113	0	45,463,000	140	140	0	110,026,270
その他	47	46	1	392,835,969	28	28	0	672,854,082
合計	225	224	1	862,872,954	235	234	1	1,408,286,445
前年比	-10	-10	±0	-545,413,491				

イ 被害者（年代別・男女別）



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年上半期	男性	4	5	7	15	42	38	14	
割合	3.2%		4.0%	5.6%	12.0%	33.6%	30.4%	11.2%	0.0%	100.0%	
女性	3		5	9	20	24	28	11	0	100	
割合	3.0%		5.0%	9.0%	20.0%	24.0%	28.0%	11.0%	0.0%	100.0%	
合計	7		10	16	35	66	66	25	0	225	
割合	3.1%		4.4%	7.1%	15.6%	29.3%	29.3%	11.1%	0.0%	100.0%	
前年比	-2	+1	-4	+1	+1	-2	-3	-2	-10	-10	
増減率	-22.2%	+11.1%	-20.0%	+2.9%	+1.5%	-2.9%	-10.7%	-100.0%	-4.3%	-4.3%	
R5年上半期	男性	4	4	10	23	36	40	21	1	139	59.1%
	割合	2.9%	2.9%	7.2%	16.5%	25.9%	28.8%	15.1%	0.7%	100.0%	
	女性	5	5	10	11	29	28	7	1	96	
	割合	5.2%	5.2%	10.4%	11.5%	30.2%	29.2%	7.3%	1.0%	100.0%	
合計	9	9	20	34	65	68	28	2	235		
割合	3.8%	3.8%	8.5%	14.5%	27.7%	28.9%	11.9%	0.9%	100.0%		

ウ 被害金等受取方法別

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R6年上半期	137	1	82	4	0	0	1	0	0	225
割合	60.9%	0.4%	36.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	-23	±0	+18	-5	±0	±0	+1	±0	-1	-10
増減率	-14.4%	±0.0%	+28.1%	-55.6%	-	-	-	-	-100.0%	-4.3%
R5年上半期	160	1	64	9	0	0	0	0	1	235
割合	68.1%	0.4%	27.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- 受取方法の割合では、電子マネーが最も高く、全体の約6割を占め、次いで振込が約4割を占める。

【架空料金請求詐欺の主な手口】

○ サポート詐欺

パソコンやタブレット端末で動画やWEBサイトなどを閲覧しているときに、「ウイルスに感染しました。この電話番号におかけ下さい。」などの警告画面が表示され、指定された電話番号に連絡すると、相手側が遠隔操作プログラムのインストールを指示し、遠隔操作によるウイルス除去等のサポートを装い、その費用名目に現金振込や電子マネーカードの購入などを要求し、金銭等をだまし取る手口

○ 有料サイト利用料金等名目

パソコン、携帯電話等に「有料サイトの利用料金等が未納である」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

○ 『NTTファイナンス』騙り

「NTTファイナンスお客様サポートセンター」や「NTT」を騙り、携帯電話等に「料金の未払い金がある」という内容のメール（SMS等）を送信し、指定された電話番号に電話すると、「有料サイトの未納料金がある」などと言われ、未払い料金名目で金銭を要求される。

これに応じて金銭の支払いをすると、その後、個人データ保護協会、セキュリティ協会などを騙る者から「あなたの携帯電話がウイルスに感染して損害を与えた」などと言われ、架空のトラブルに巻き込み、損害賠償、慰謝料等の様々な名目で金銭を要求され、最終的には、「資産に犯罪収益がないか金融庁が確認する」、「資産を安全な場所に移動する」などと言われて、全資産を振り込むように要求される手口。

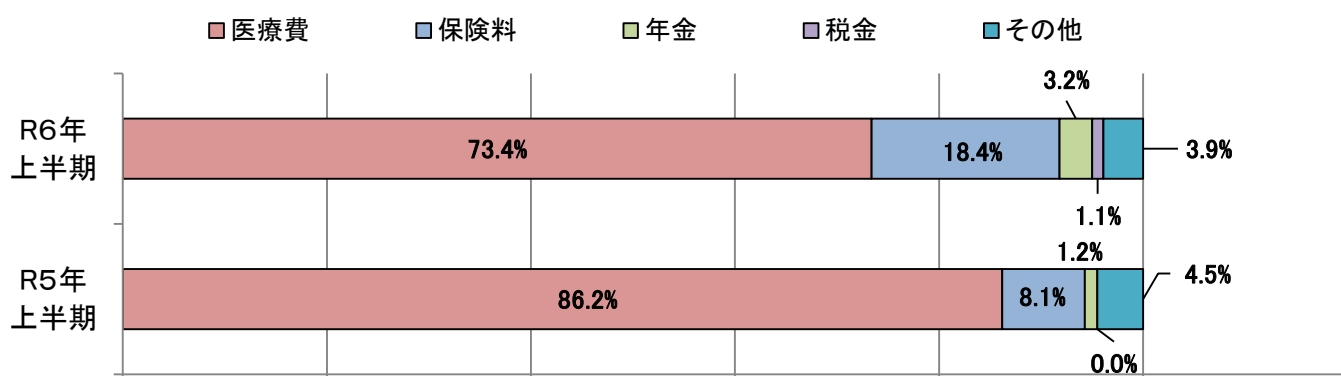
信じて支払いを続けると長期間に渡るため、高額被害になりやすい。

(5) 還付金詐欺

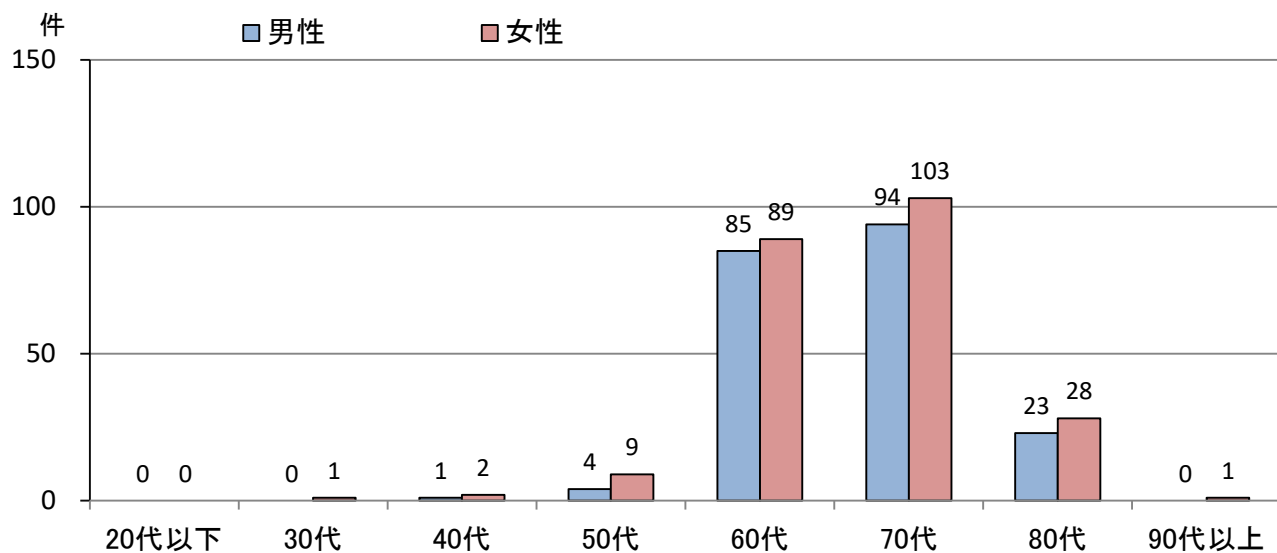
ア 騙しの名目別（認知件数）

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
医療費	323	323	0	702,553,291	212	211	1	290,830,059
健康保険・社会保険等	81	81	0	155,674,827	20	20	0	19,471,274
年金	14	14	0	24,068,124	3	2	1	1,978,555
税金	5	5	0	13,006,194	0	0	0	0
その他	17	17	0	39,778,834	11	11	0	18,352,731
合計	440	440	0	935,081,270	246	244	2	330,632,619
前年比	+194	+196	-2	+604,448,651				

イ 騙しの名目別（割合）



ウ 被害者（年代別・男女別）



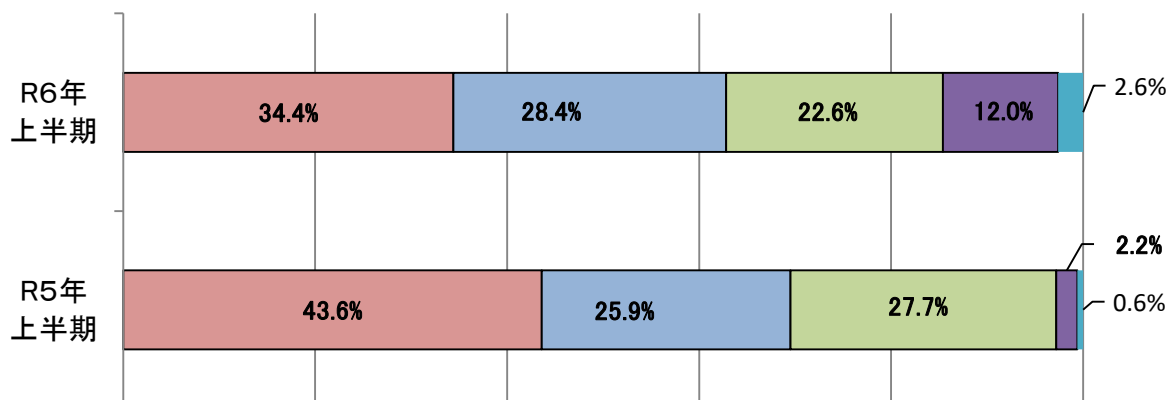
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年 上半期	男性	0	0	1	4	85	94	23	0	207	47.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.5%	1.9%	41.1%	45.4%	11.1%	0.0%	100.0%	
	女性	0	1	2	9	89	103	28	1	233	53.0%
	割合	0.0%	0.4%	0.9%	3.9%	38.2%	44.2%	12.0%	0.4%	100.0%	
	合計	0	1	3	13	174	197	51	1	440	
	割合	0.0%	0.2%	0.7%	3.0%	39.5%	44.8%	11.6%	0.2%	100.0%	
前年比	±0	±0	±0	-3	+121	+95	-19	±0	+194		
増減率	-	±0.0%	±0.0%	-18.8%	+228.3%	+93.1%	-27.1%	±0.0%	+78.9%		
R5年 上半期	男性	0	0	1	3	17	40	35	1	97	39.4%
	割合	0.0%	0.0%	1.0%	3.1%	17.5%	41.2%	36.1%	1.0%	100.0%	
	女性	0	1	2	13	36	62	35	0	149	60.6%
	割合	0.0%	0.7%	1.3%	8.7%	24.2%	41.6%	23.5%	0.0%	100.0%	
合計	0	1	3	16	53	102	70	1	246		
割合	0.0%	0.4%	1.2%	6.5%	21.5%	41.5%	28.5%	0.4%	100.0%		

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の約6割を占めており、男女別では、女性が若干多い。60代の増加が目立つ。

エ 場所別の振込回数（被害者が誘導され振込んだ場所）

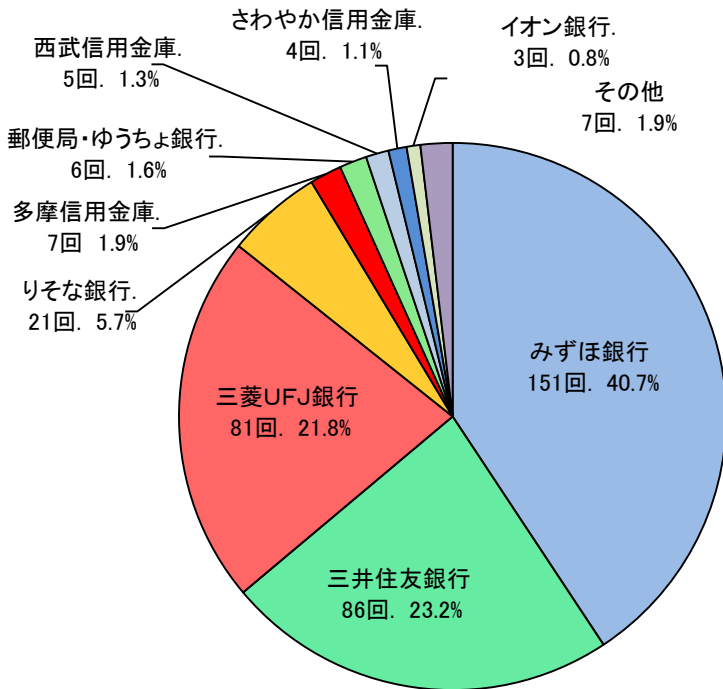
	金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	ネットバン キング	その他 不明	合計
R6年上半期	371	306	243	129	28	1077
割合	34.4%	28.4%	22.6%	12.0%	2.6%	100.0%
R5年上半期	219	130	139	11	3	502
割合	43.6%	25.9%	27.7%	2.2%	0.6%	100.0%

■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■ネットバンキング ■その他・不明



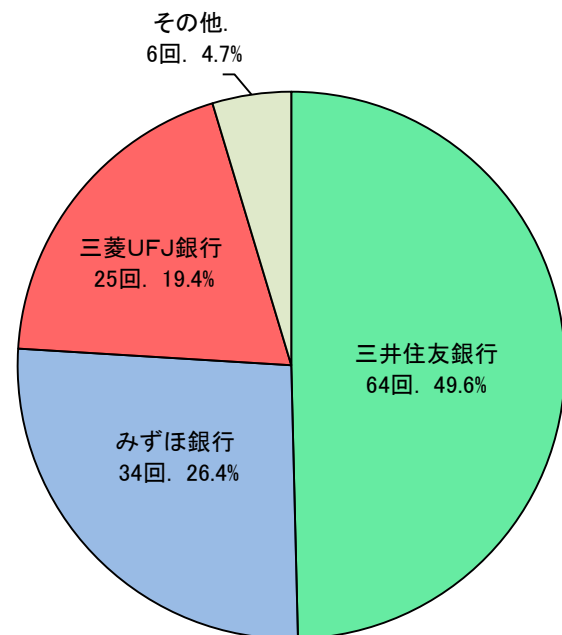
金融機関別【無人ATM】

【振込回数 371回】



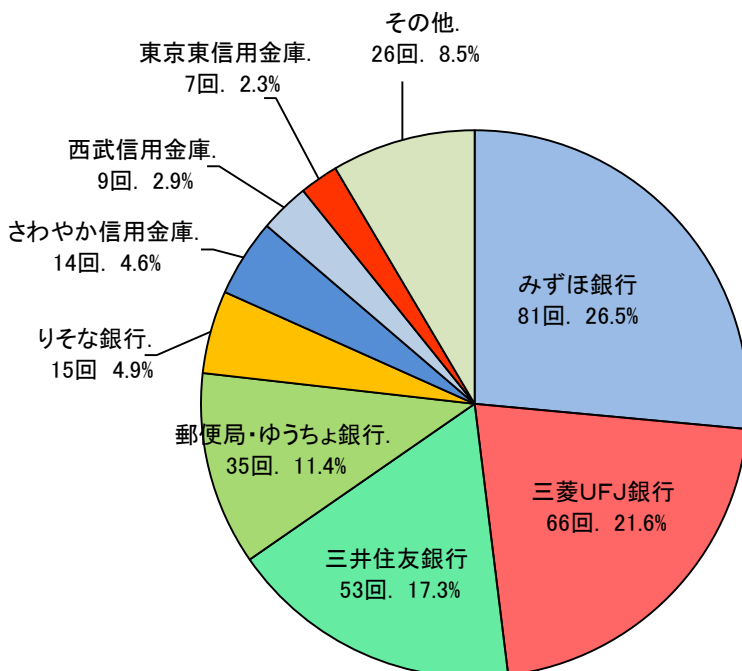
金融機関別【ネットバンキング】

【振込回数 129回】



金融機関別【店舗内ATM】

【振込回数 306回】



オ 口座別の振込回数等（被害者が開設・利用していた口座）

振込の回数

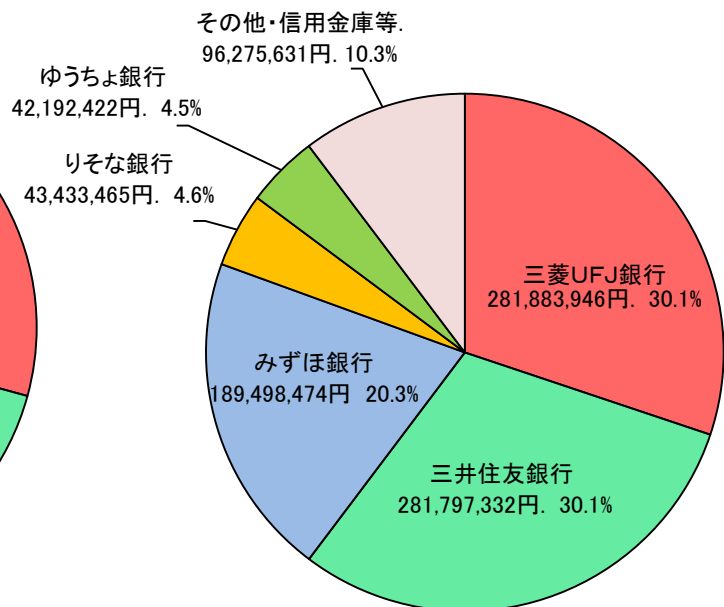
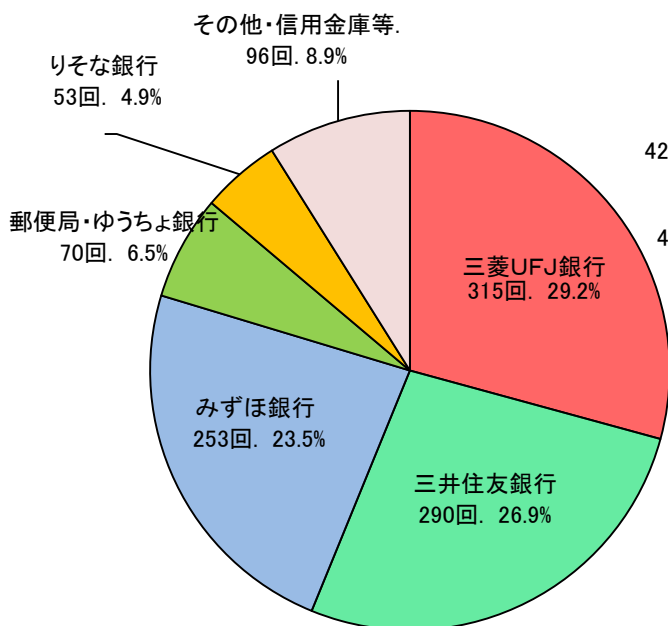
	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R6年上半期	253	290	315	70	53	96	1,077
割合	23.5%	26.9%	29.2%	6.5%	4.9%	8.9%	100.0%
R5年上半期	152	120	101	43	42	44	502
割合	30.3%	23.9%	20.1%	8.6%	8.4%	8.8%	100.0%

振込被害金額

	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R6年上半期	189,498,474	281,797,332	281,883,946	42,192,422	43,433,465	96,275,631	935,081,270
割合	20.3%	30.1%	30.1%	4.5%	4.6%	10.3%	100.0%
R5年上半期	111,455,464	84,162,174	67,452,204	21,109,292	19,975,370	26,478,115	330,632,619
割合	33.7%	25.5%	20.4%	6.4%	6.0%	8.0%	100.0%

【振込回数 1,077回】

【振込被害金額 9億3,508万1,270円】



(6) 融資保証金詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	9	9	0	13,633,304	4	4	0	5,682,539
合計	9	9	0	13,633,304	4	4	0	5,682,539
前年比	+5	+5	±0	+7,950,765				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年 上半期	男性	3	0	1	1	0	0	0	
割合	60.0%		0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
女性	1		0	0	3	0	0	0	0	4	
割合	25.0%		0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	4		0	1	4	0	0	0	0	9	
割合	44.4%		0.0%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	+4	±0	-1	+4	-2	±0	±0	±0	+5	
	増減率	-	-	-50.0%	-	-100.0%	-	-	-	+125.0%	
R5年 上半期	男性	0	0	2	0	2	0	0	0	4	100.0%
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	合計	0	0	2	0	2	0	0	0	4	
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

【融資保証金詐欺とは】

融資を申し込んできた者に対し、実際は融資をしないにもかかわらず、保証金等の名目で金銭等をだまし取る(脅し取る)手口

【手口例】

- 被害者宅（事務所）に、「融資できます。手続きのため、先に手数料や担保金を振り込む必要がありますが、後で返金します。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から金銭等をだまし取るもの

(7) 金融商品詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有価証券等	0	0	0	0	4	4	0	131,494,355
外国通貨	0	0	0	0	5	5	0	7,784,980
物品	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	3	3	0	16,887,438
合計	0	0	0	0	12	12	0	156,166,773
前年比	-12	-12	±0	-156,166,773				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年 上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	—		—	—	—	—	—	—	—	0.0%	
R5年 上半期	前年比	-2	-2	-1	-2	-4	±0	-1	±0	-12	
	増減率	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	—	—	—	-100.0%	
	男性	0	0	0	1	2	0	1	0	4	33.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
	女性	2	2	1	1	2	0	0	0	8	66.7%
	割合	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	2	2	1	2	4	0	1	0	12		
割合	16.7%	16.7%	8.3%	16.7%	33.3%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%		

【金融商品詐欺とは】

手形、小切手、株券及び社債券等の有価証券や、外国通貨及び物品等の購入名目等で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 未公開株や社債などへの投資や商品購入に関するSMSが突然届き、「指定された口座に入金するだけで、入金額に比例した融資を受けて未公開株の購入ができます」等とうそを言い、金融商品の購入を装って、現金等をだまし取るもの

(8) ギャンブル詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	0	0	0	0	0	0	0	0
競馬必勝法等	1	1	0	28,940,000	2	2	0	12,322,693
宝くじ当選情報等	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	0	28,940,000	2	2	0	12,322,693
前年比	-1	-1	±0	+16,617,307				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R6年 上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%		
女性	0		0	0	1	0	0	0	0	1	100.0%	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
合計	0		0	0	1	0	0	0	0	1		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
前年比	±0	±0	-1	+1	-1	±0	±0	±0	-1			
増減率	-	-	-100.0%	-	-100.0%	-	-	-	-	-50.0%		
R5年 上半期	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	1	50.0%	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	1		50.0%
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	合計	0	0	1	0	1	0	0	0	2		
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

【ギャンブル詐欺とは】

パチンコ、競馬及び競輪等の必勝法情報購入等の名目で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「当社はお客様から出資金を募り、馬券を代理購入する会社です。当社が独自に持っている有力な競馬情報を元に、お客様の代わりに馬券を購入して、馬券が当たればお客様の銀行口座に払戻金を振り込みます。今、キャンペーン中で、会員登録して頂きますと5,000円をプレゼントします。」等のメールを送信し、被害者に会員登録させて掛金や手数料名目に犯人の指定した口座に現金を振り込ませ、だまし取るもの

(9) 交際あっせん詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R6年 上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
R5年 上半期	前年比	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	0.0%
	増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%		

【交際あっせん詐欺とは】

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た者が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

(10) **その他の特殊詐欺**

ア 認知件数

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	23	22	1	73,955,732	0	0	0	0
合計	23	22	1	73,955,732	0	0	0	0
前年比	+23	+22	+1	+73,955,732				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R6年 上半期	男性	4	2	1	1	3	2	0		0
割合	30.8%		15.4%	7.7%	7.7%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%		
女性	4		2	2	1	0	1	0	0	10	43.5%	
割合	40.0%		20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
合計	8		4	3	2	3	3	0	0	23		
割合	34.8%		17.4%	13.0%	8.7%	13.0%	13.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	前年比	+8	+4	+3	+2	+3	+3	±0	±0	+23		
	増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
R5年 上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%		
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%		
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%		

【その他の特殊詐欺とは】

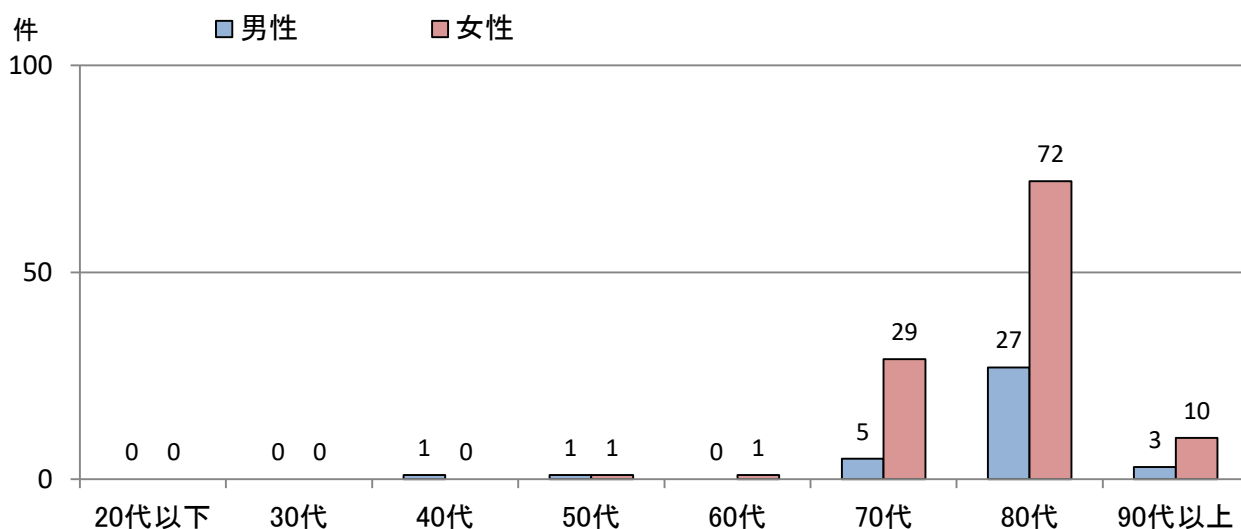
オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺の類型に該当しない特殊詐欺

(11) キャッシュカード詐欺盗

ア 手口別認知件数

	認知件数	R6年上半期			認知件数	R5年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	141	138	3	167,509,000	133	131	2	154,126,000
訪問盗	9	9	0	9,038,000	62	61	1	77,007,000
詐欺盗その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	150	147	3	176,547,000	195	192	3	231,133,000
前年比	-45	-45	±0	-54,586,000				

イ 被害者（年代別・男女別）

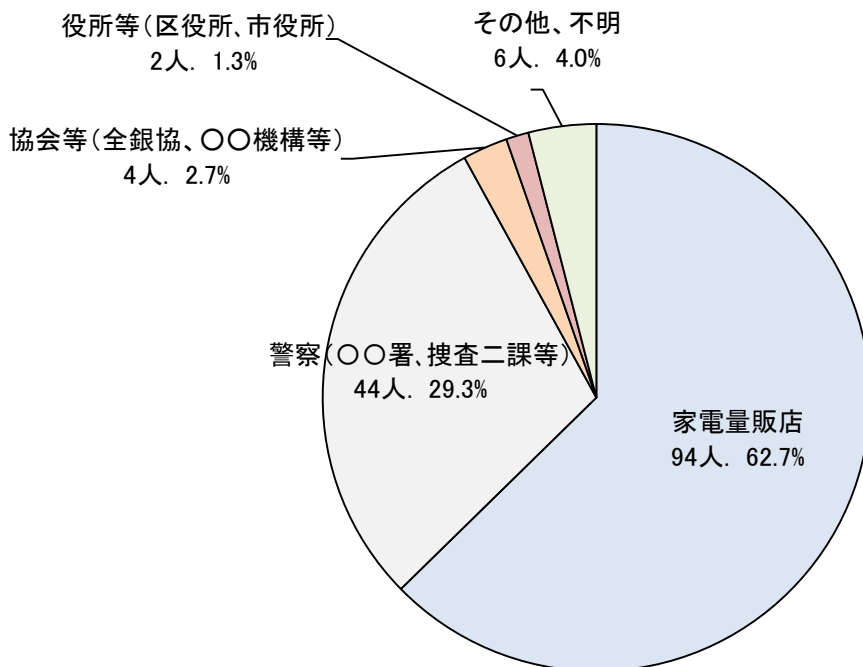


		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年 上半期	男性	0	0	1	1	0	5	27	3	37	24.7%
	割合	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	0.0%	13.5%	73.0%	8.1%	100.0%	
	女性	0	0	0	1	1	29	72	10	113	75.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	25.7%	63.7%	8.8%	100.0%	
	合計	0	0	1	2	1	34	99	13	150	
	割合	0.0%	0.0%	0.7%	1.3%	0.7%	22.7%	66.0%	8.7%	100.0%	
前年比	±0	±0	+1	±0	-1	+10	-59	+4	-45		
増減率	-	-	-	±0.0%	-50.0%	+41.7%	-37.3%	+44.4%	-23.1%		
R5年 上半期	男性	0	0	0	1	1	2	12	6	22	11.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	9.1%	54.5%	27.3%	100.0%	
	女性	0	0	0	1	1	22	146	3	173	88.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	12.7%	84.4%	1.7%	100.0%	
合計	0	0	0	2	2	24	158	9	195		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	12.3%	81.0%	4.6%	100.0%		

○ 被害者の割合は、ほぼ70代以上で占めており、男女別では、女性が約8割を占める。

エ 欺罔者(登場人物)別

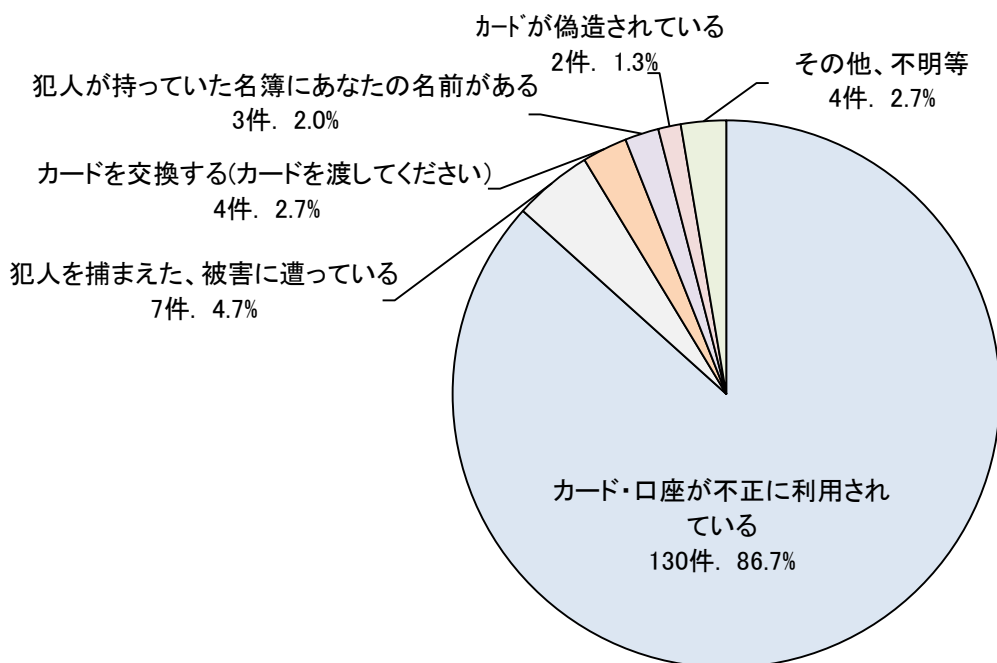
【認知件数 150件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 150件】



【キャッシュカード詐欺盗とは】

- 職権盗 ～ 警察官、金融庁及び市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社及びガス会社等)などを騙る者が、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員及び銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者になりすましてカードの交換等の名目でキャッシュカードを窃取するもの

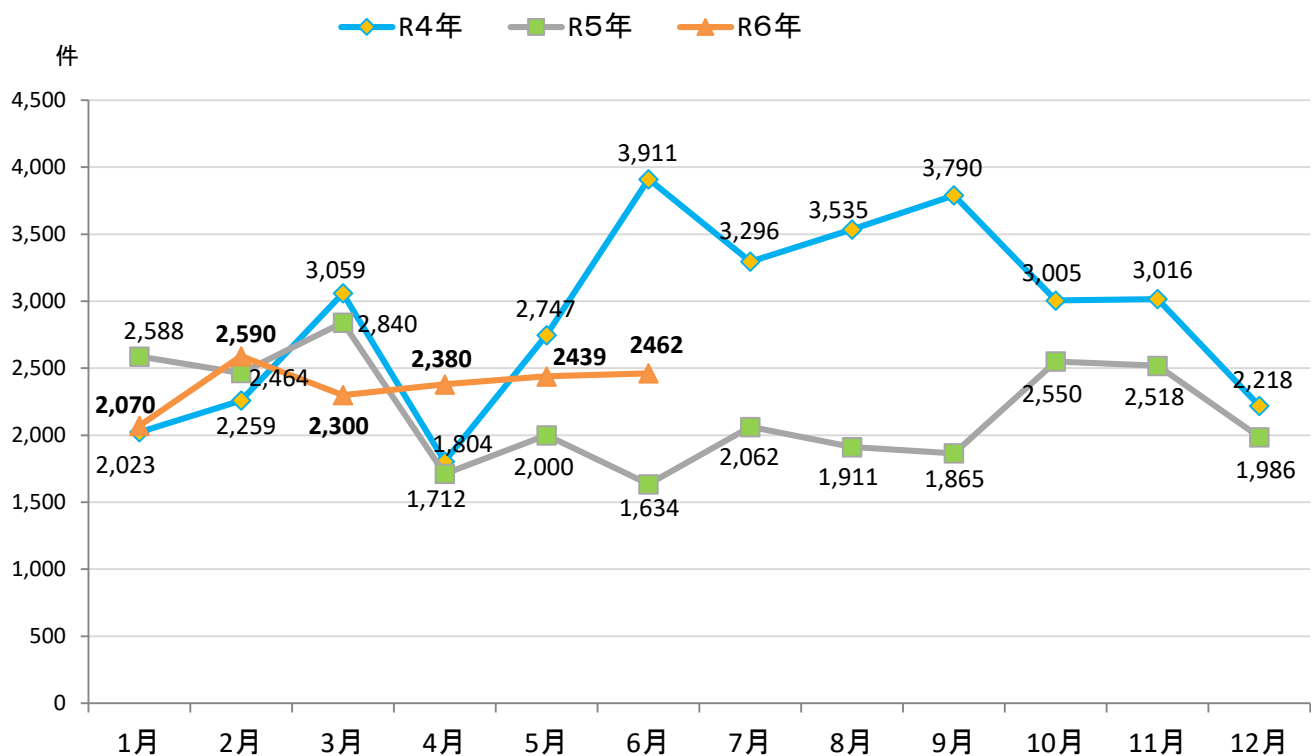
【主な手口】

- **キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る**
警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座から現金が引き出されています。カードを確認する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

【手口例】

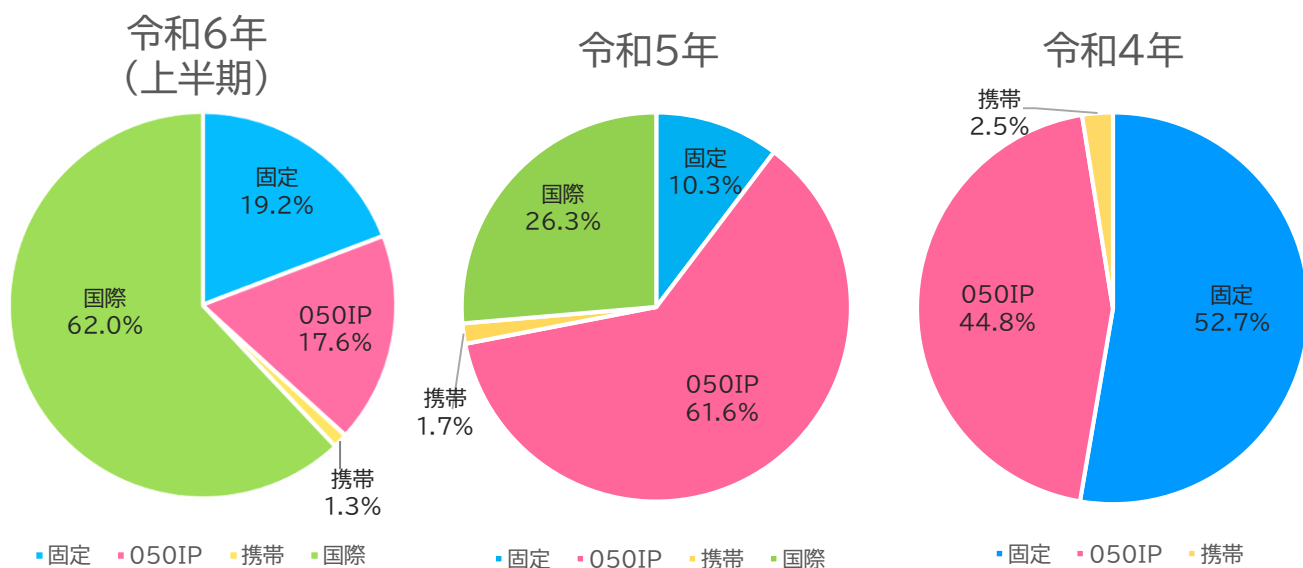
- 警察官等を騙り、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向け、被害者が印鑑を取りに行った隙に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

(12) 犯行予兆電話の通報件数



R 6 年上半期 1 万4, 241件 (前年比 +1, 003件)
 R 5 年上半期 1 万3, 238件 (前年比 -2, 565件)
 R 4 年上半期 1 万5, 803件 (前年比 -3, 735件)

(13) 犯行利用電話の種別



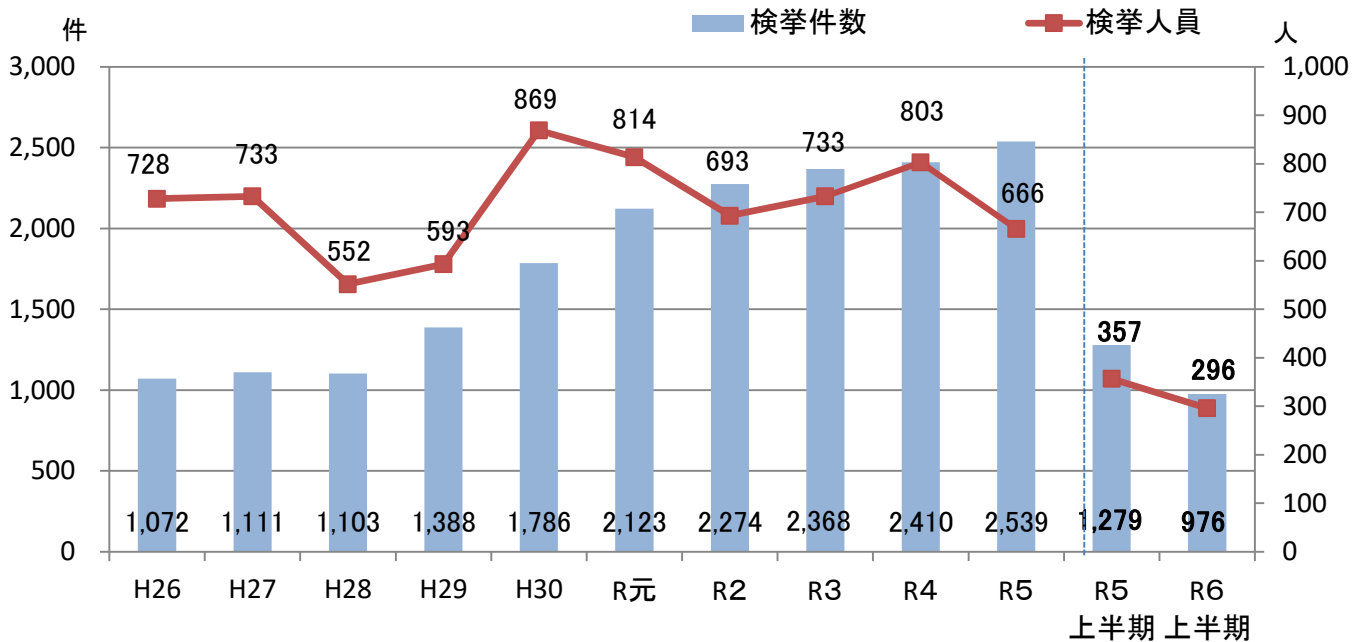
※ 当庁で把握した着信時における犯行利用電話番号の割合であり、非通知や電話番号不明のものは含まない。

※ 令和5年7月以降、国際電話番号の犯行利用が増加している。

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯

ア 検挙状況の推移 (H26～R5)



※ H25年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 類型別の検挙状況

	R6年上半期								R5年上半期			
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	240	24.6%	-79	-24.8%	134	45.3%	-15	-10.1%	319	24.9%	149	41.7%
預貯金詐欺	267	27.4%	+15	+6.0%	65	22.0%	-12	-15.6%	252	19.7%	77	21.6%
架空料金請求詐欺	47	4.8%	-29	-38.2%	11	3.7%	+3	+37.5%	76	5.9%	8	2.2%
還付金詐欺	215	22.0%	-114	-34.7%	44	14.9%	-11	-20.0%	329	25.7%	55	15.4%
融資保証金詐欺	1	0.1%	+1	—	1	0.3%	+1	—	0	0.0%	0	0.0%
金融商品詐欺	2	0.2%	-2	-50.0%	1	0.3%	-11	-91.7%	4	0.3%	12	3.4%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
その他の特殊詐欺	0	0.0%	-2	-100.0%	2	0.7%	+2	—	2	0.2%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	204	20.9%	-93	-31.3%	38	12.8%	-18	-32.1%	297	23.2%	56	15.7%
合計	976	100.0%	-303	-23.7%	296	100.0%	-61	-17.1%	1,279	100.0%	357	100.0%

○ 前年同期と比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R6年上半期	6	27
R5年上半期	2	16
前年比	+4	+11

エ 検挙人員（年代別・男女別）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R6年 上半期	男	64	118	46	21	14	6	0	0	0	269	90.9%
	割合	23.8%	43.9%	17.1%	7.8%	5.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女	4	11	5	4	3	0	0	0	0	27	9.1%
	割合	14.8%	40.7%	18.5%	14.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	68	129	51	25	17	6	0	0	0	296	
	割合	23.0%	43.6%	17.2%	8.4%	5.7%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	+17	-31	-36	-11	-1	+2	-1	±0	±0	-61	
増減率	+33.3%	-19.4%	-41.4%	-30.6%	-5.6%	+50.0%	-100.0%	-	-	-17.1%		
R5年 上半期	男	46	141	74	32	16	2	1	0	0	312	87.4%
	割合	19.1%	46.9%	17.3%	10.2%	4.3%	0.8%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女	5	19	13	4	2	2	0	0	0	45	12.6%
	割合	15.8%	31.6%	31.6%	13.2%	5.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	51	160	87	36	18	4	1	0	0	357	
割合	14.3%	44.8%	24.4%	10.1%	5.0%	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%		

- 年代別では、10代から30代までで、全体の約8割を占める。
- 男女別では、男が約9割を占めており、前年同期に比べ、女の割合が減少した。

オ 検挙人員（少年・暴力団・外国人別）

		検 挙 人 員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R6年 上半期	男	269	62	34	11
	女	27	4	1	1
	合 計	296	66	35	12
	前年比	-61	+17	-14	-1
	割合	100.0%	22.3%	11.8%	4.1%
R5年 上半期	男	312	44	46	11
	女	45	5	3	2
	合 計	357	49	49	13
	割合	100.0%	13.7%	13.7%	3.6%

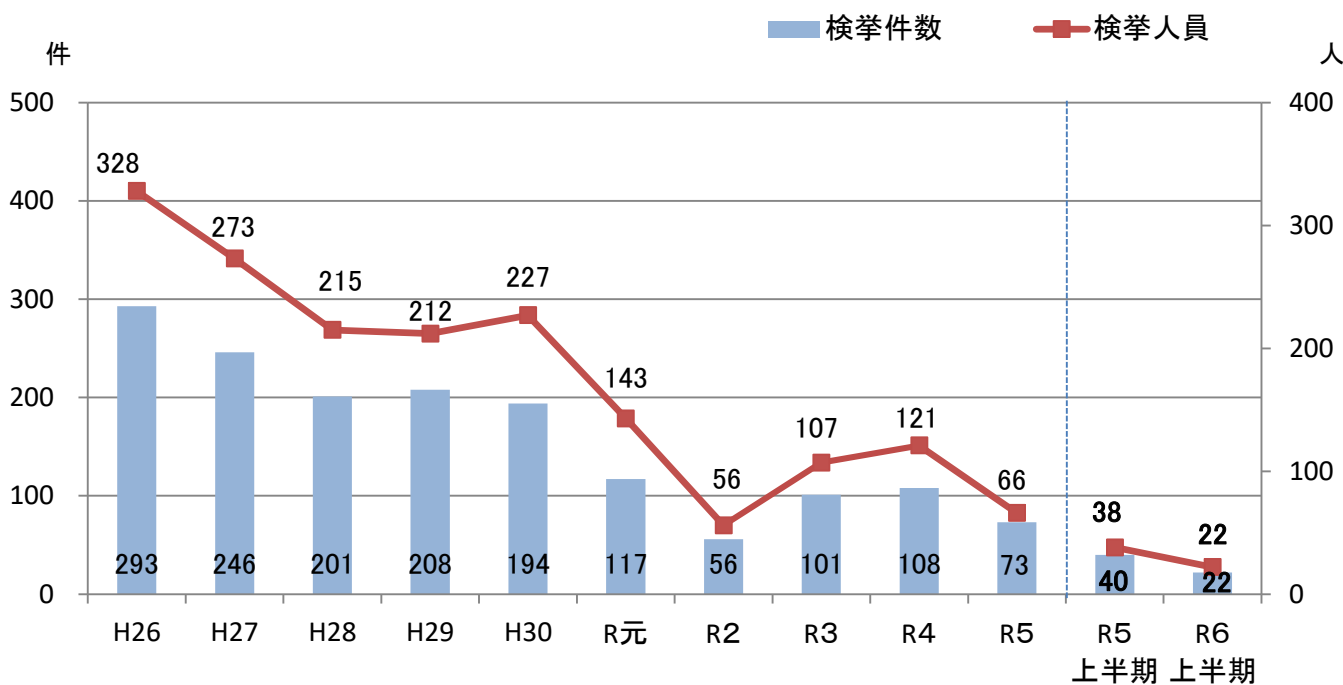
- 検挙人員のうち、少年は約2割を占めており、前年と比べ人員が増加した。

カ 検挙人員（役割別・男女別）

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合 計
R6年 上半期	男	4	3	13	35	164	2	23	25	269
	女	0	0	1	9	13	0	0	4	27
	合 計	4	3	14	44	177	2	23	29	296
	前年比	-1	-1	±0	-5	-34	-8	-2	-10	-61
	割合	1.4%	1.0%	4.7%	14.9%	59.8%	0.7%	7.8%	9.8%	100.0%
R5年 上半期	男	5	4	12	39	184	8	24	36	312
	女	0	0	2	10	27	2	1	3	45
	合 計	5	4	14	49	211	10	25	39	357
	割合	1.4%	1.1%	3.9%	13.7%	59.1%	2.8%	7.0%	10.9%	100.0%

○ 役割別では、受け子が全体の約6割を占めており、男女別では、男が約9割を占める。

キ 現場設定（だまされた振り作戦）による検挙状況



(2) 特殊詐欺助長犯

類型別の検挙状況

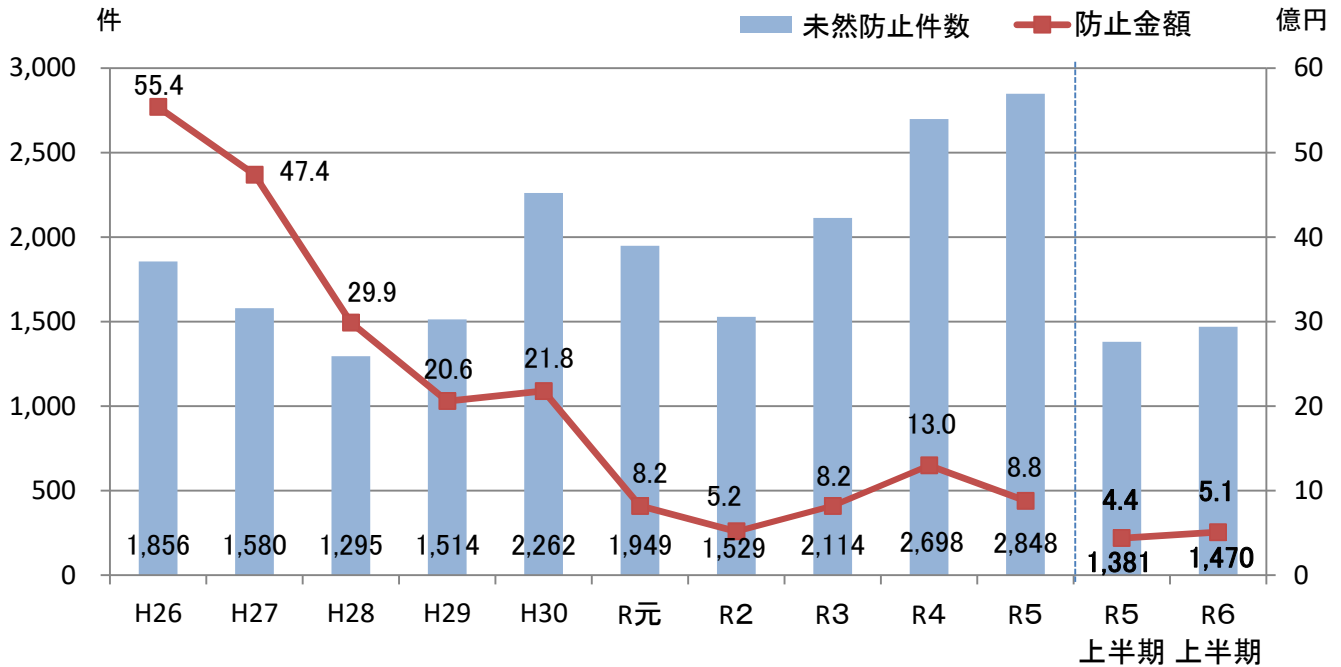
		口座開設詐欺	携帯電話 契約詐欺	犯罪収益移転 防止法違反	携帯電話不正 利用防止法違反	組織犯罪処罰法違 反	合 計
検 挙 件 数	R6年上半期	58	29	256	0	25	368
	R5年上半期	44	28	198	0	20	290
	前年比	+14	+1	+58	±0	+5	+78
	増減率	+31.8%	3.6%	+29.3%	-	25.0%	+26.9%
検 挙 人 員	R6年上半期	41	25	223	0	1	290
	R5年上半期	33	20	165	0	1	219
	前年比	+8	+5	+58	±0	±0	+71
	増減率	+24.2%	+25.0%	+35.2%	-	0.0%	+32.4%

○ 助長犯の検挙は、前年と比べ、検挙件数が78件増加し、検挙人員が71人増加した。

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体

ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年同期と比べ89件増加、防止金額は、前年同期と比べ約0.7億円増加した。

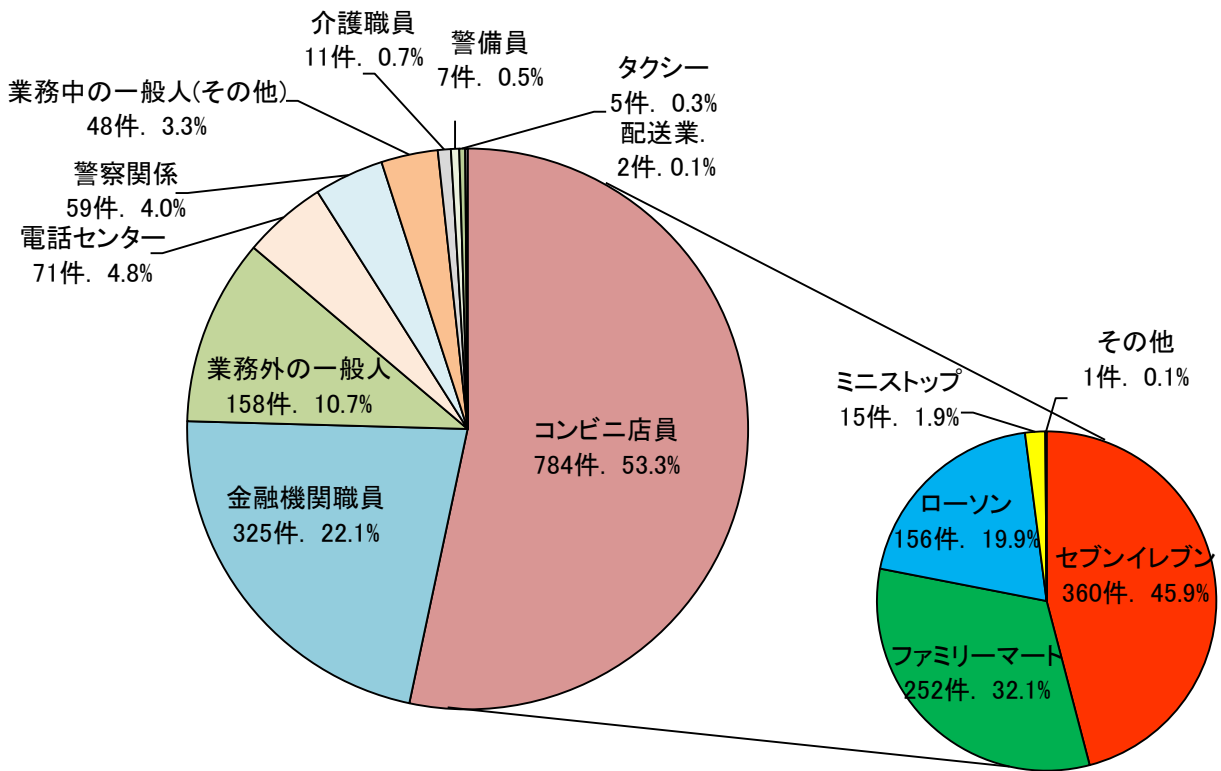
イ 職種別の未然防止状況

	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R6年(上半期)	325	59	71	784	7	11	5	2	48	158	1,470
割合	22.1%	4.0%	4.8%	53.3%	0.5%	0.7%	0.3%	0.1%	3.3%	10.7%	100.0%
前年比	+81	-1	-37	+3	+2	-6	+1	-1	+21	+26	+89
増減率	+33.2%	-1.7%	-34.3%	+0.4%	+40.0%	-35.3%	+25.0%	-33.3%	+77.8%	+19.7%	+6.4%
R5年(上半期)	244	60	108	781	5	17	4	3	27	132	1,381

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す

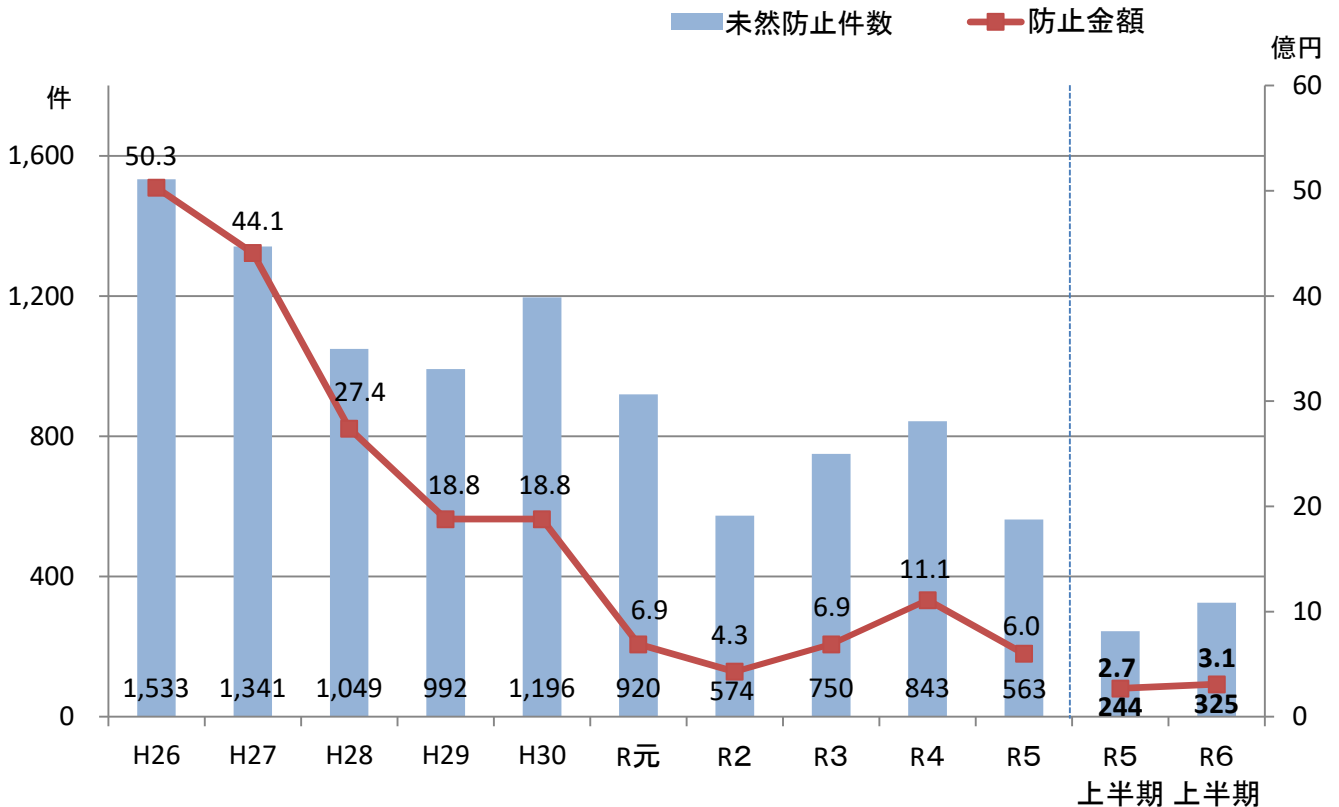
- コンビニ店員による未然防止が、全体の約5割を占める。
- 金融機関職員による未然防止が、前年同期と比べ、33.2%(81件)増加した。

【未然防止件数 1,470件】



(2) 金融機関による未然防止

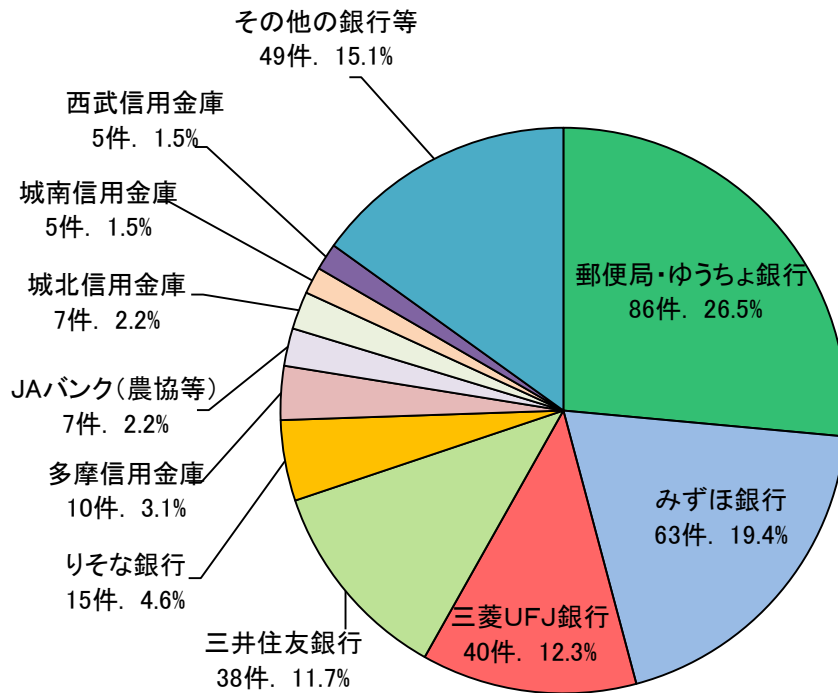
ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年と比べ81件増加、防止金額は、約0.4億円増加した。

イ 金融機関別の未然防止状況

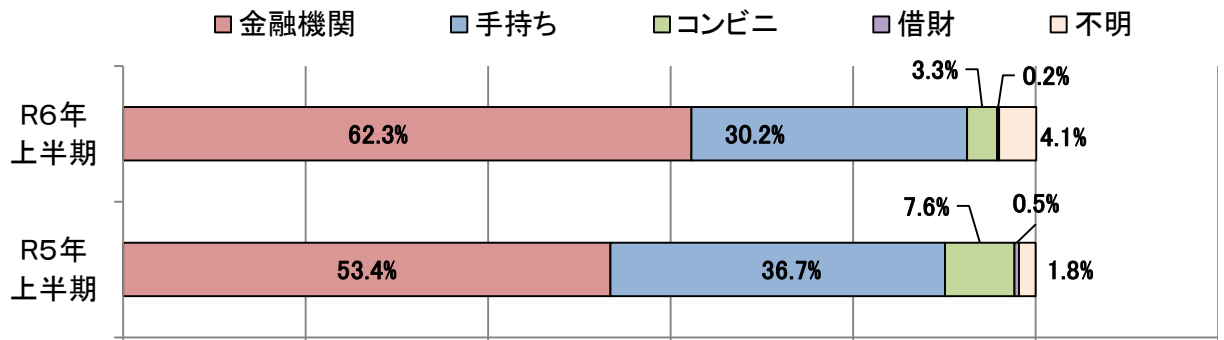
【未然防止件数 325件】



(3) 被害金調達状況(全体)

現金手交及び現金送付にかかる被害金(現金)調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R6年上半期	414	22	1	201	27	665
割合	62.3%	3.3%	0.2%	30.2%	4.1%	100.0%
R5年上半期	318	45	3	219	11	596
割合	53.4%	7.6%	0.5%	36.7%	1.8%	100.0%

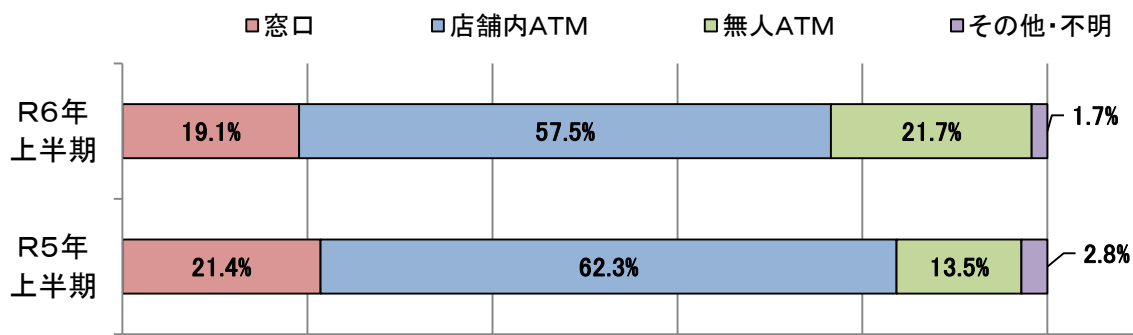


○ 被害金(現金)の調達は、「金融機関」の占める割合が増加した。

(4) 金融機関における被害金調達

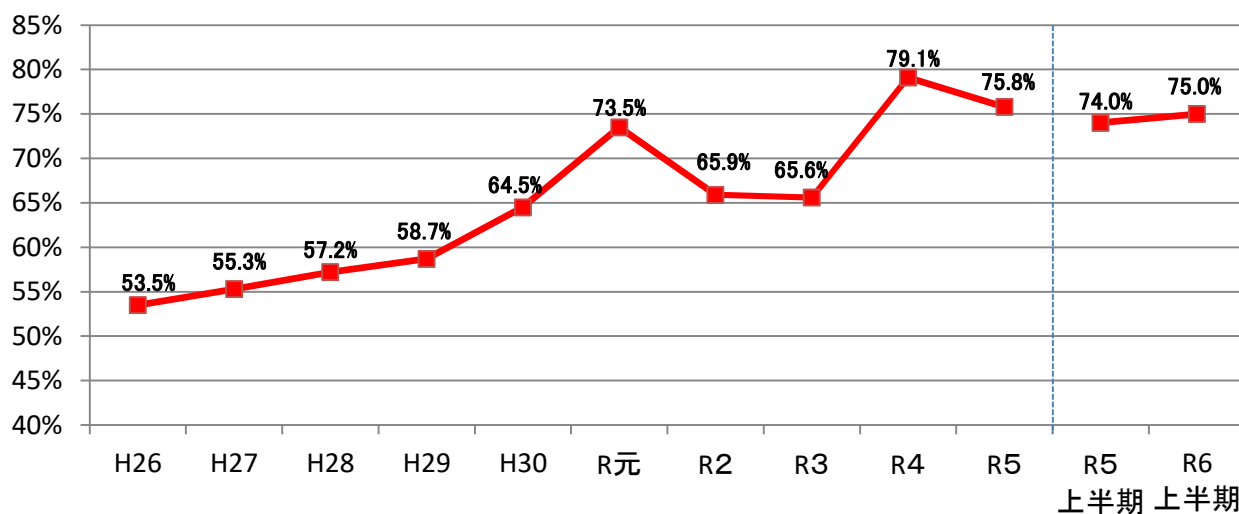
方法別の被害金(現金)調達回数

	窓口	A T M			その他不明	合 計
		店舗内ATM	無人ATM	小 計		
R6年上半期	79	238	90	328	7	414
割合	19.1%	57.5%	21.7%	79.2%	1.7%	100.0%
R5年上半期	68	198	43	241	9	318
割合	21.4%	62.3%	13.5%	75.8%	2.8%	100.0%



○ ATMでの調達の割合は、店舗内と無人を合わせて全体の約8割を占める。

(5) 金融機関窓口による未然防止率



※ 未然防止率

= 窓口での未然防止件数(237件) ÷ (窓口での未然防止件数(237件) + 窓口での引き出し件数(79件)) × 100

○ 被疑者は、被害者が金融機関で現金を調達する際に、行員等にその理由を聞かれることを想定し、被害者に対して次のように答えるように指示している場合がある。

R6年上半期

- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 法事で使うため
- ・ お墓を購入するため
- ・ 手術代、入院費用として
- ・ 不動産購入のため 等

(6) 未然防止の好事例

1 一般人（高校生ら）による未然防止

防止者らが駅構内を歩いていたところ、ATMコーナー内で携帯電話を片手に、不慣れな様子でATMを操作している被害者（80代・女性）を発見し、声を掛けたところ、「サイトの料金が支払われていないから、このATMから振り込むように言われたの」と話したことから、「それは詐欺ですよ」と説得して110番通報し、被害を未然に防止した。

2 タクシー運転手による未然防止

防止者がコンビニへの送迎連絡を受け、被害者宅前から被害者（80代・女性）を乗車させた。

乗車後、被害者は携帯電話で通話していたが、会話の内容から詐欺ではないかと思い、コンビニに行く理由を尋ねたところ、「パソコンが動かなくなり、電子マネーを買ってくるように言われた」と話したことから、「それは詐欺です、警察官に話しましょう」と声を掛け、近くで検問をしていた警察官の元まで送り届け、被害を未然に防止した。

3 介護職員による未然防止

防止者が、訪問介護のため被害者（90代・女性）宅を訪問したところ、玄関先で通帳を持った被害者が、見知らぬ男と会話している状況であった。

不審に思い、男に声を掛けたところ、男は曖昧な言動を繰り返したため、更に不信感を強め、追求すると、突然逃げるように立ち去った。

被害者に話を聞いたところ、金融機関職員を騙る男に通帳を渡そうとしていたことが判明、すぐに110番通報し、被害を未然に防止した。

4 コンビニ店員による未然防止

防止者がコンビニ店舗で勤務中、被害者（80代・男性）がレジで高額の子マネーを購入しようとしたことから不審に思い、「詐欺ではないですか、詐欺の疑いがあるのでカードは売れません」と声を掛けたところ、被害者は電子マネーを購入出来ないことに憤慨し、店を出て行ってしまった。

防止者は「まだ被害に遭うかもしれない」と心配になり、110番通報しながら、被害者の自宅まで追従し、臨場した警察官と共に、被害を未然に防止した。

5 コンビニ店員による未然防止

防止者がコンビニ店舗で勤務中、被害者（80代・男性）がレジで高額の子マネーを購入しようとしているのを不審に思い、声を掛けたところ、「パソコンがウイルスに感染し、コンビニで電子マネーを買ってくるように言われました」と話したことから、「それは詐欺ですよ」と声をかけ、110番通報し、被害を未然に防止した。

また、被害者は島民で、島にコンビニがなかったことから、電子マネーを購入するために定期船に乗って、コンビニまで誘導されていることが判明した。